

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第17集

久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅴ

1994. 3

岩手県久慈市教育委員会

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第17集

久慈市内遺跡詳細分布調査報告書Ⅴ

1994. 3

岩手県久慈市教育委員会

序

先人の築いた文化遺産は、その地方の歴史を解明するうえで貴重なものです。

遺跡など、地中に埋蔵されている文化遺産は埋蔵文化財と総称されます。

近年、各種開発による土木工事等に伴い、埋蔵文化財の発掘調査が増加しています。

そのため、遺跡の分布状況、内容等を把握し、遺跡台帳を整え、開発事業と埋蔵文化財保護との調整を図るため、市内詳細分布調査を第1期4年次計画、第2期3年次計画で実施することとしました。

平成5年度は第2期3年次計画の1年目にあたり、山根町地区を主な対象として調査を実施しました。

本書はその成果をまとめたものであり、今後、埋蔵文化財保護を進めるうえでの一助となれば幸いです。

平成6年3月

久慈市教育委員会

教育長 長 内 俊 雄

例

言

- 1 本書は、平成5年度文化財保護事業として国庫及び県費補助を受けて久慈市教育委員会が実施した遺跡詳細分布調査の報告書である。
- 2 調査は久慈市教育委員会が主体となり実施した。
- 3 調査体制は次のとおりである。

事務局 社会教育課長 米 内 幹 雄

郷土文化係長 大 湊 清 信

文化財調査員 千 葉 啓 蔵

調 査 員 千葉啓蔵

屋外作業員 神田喜美栄 関上スミ子

屋内作業員 神田喜美栄 関上スミ子

- 4 石質鑑定は新田康夫氏に依頼した。
- 5 本書の編集、原稿執筆、図版作成、写真撮影等は千葉が担当した。
- 6 調査に関する資料は久慈市教育委員会が一括して保管してある。

目 次

序

例 言

第 I 章 分布調査の概要	1
第 II 章 調 査 結 果	4
1 大川目町滝地区	4
2 山根町深田地区	7
3 山根町木売内地区	14
4 山根町細野地区	20
5 山根町端神地区	26
6 山根町下戸鎖地区	32
7 山根町上戸鎖地区	38
8 ま と め	42

図版目次

第1図	分布調査対象範囲図	3
第2図	大川目町滝地区遺跡分布図	5
第3図	大川目町滝地区表採遺物	6
第4図	山根町深田地区遺跡分布図	8
第5図	山根町深田地区表採遺物(1)	9
第6図	山根町深田地区表採遺物(2)	10
第7図	山根町木壳内地区遺跡分布図	15
第8図	山根町木壳内地区表採遺物(1)	16
第9図	山根町木壳内地区表採遺物(2)	17
第10図	細野館平面略図	20
第11図	山根町細野地区遺跡分布図	21
第12図	山根町細野地区表採遺物(1)	22
第13図	山根町細野地区表採遺物(2)	23
第14図	山根町端神地区遺跡分布図	27
第15図	山根町端神地区表採遺物(1)	28
第16図	山根町端神地区表採遺物(2)	29
第17図	山根館平面略図	32
第18図	山根町下戸鎖地区遺跡分布図	33
第19図	山根町下戸鎖地区表採遺物(1)	34
第20図	山根町下戸鎖地区表採遺物(2)	35
第21図	山根町上戸鎖地区遺跡分布図	39
第22図	山根町上戸鎖地区表採遺物	40

写真図版目次

第1図版	大川目町滝地区表採遺物、遺跡	6
第2図版	山根町深田地区表採遺物	11
第3図版	山根町深田地区表採遺物、遺跡	12
第4図版	山根町深田地区遺跡	13
第5図版	山根町木壳内地区表採遺物	18
第6図版	山根町木壳内地区遺跡	19
第7図版	山根町細野地区表採遺物	24
第8図版	山根町細野地区遺跡	25
第9図版	山根町端神地区表採遺物	30
第10図版	山根町端神地区遺跡	31
第11図版	山根町下戸鎖地区表採遺物	36
第12図版	山根町下戸鎖地区遺跡	37
第13図版	山根町上戸鎖地区表採遺物、遺跡	41

第 I 章 分布調査の概要

岩手県久慈市は北上山地北東部に位置する。経緯度は、東経 141度38分～ 141度52分、北緯40度00分～40度17分である。広さは、東西 21.10km、南北 33.25km、面積は327.22km²である。九戸郡種市町・大野村・山形村・野田村及び下閉伊郡岩泉町に接し、東は太平洋に面する。久慈湾に注ぐ久慈川、長内川、夏井川流域、野田湾に注ぐ宇部川流域に主な集落が形成され、市域の約88%が山林原野で、気候は夏は涼しく、冬は温暖である。人口は約4万人である。

久慈市内においては、現在約 230箇所の遺跡が確認されている。主に、畑地などに利用されている箇所において遺跡の所在が確認されているが、山林地が大半を占めているため、未確認の遺跡が多く存在するものと予想される。

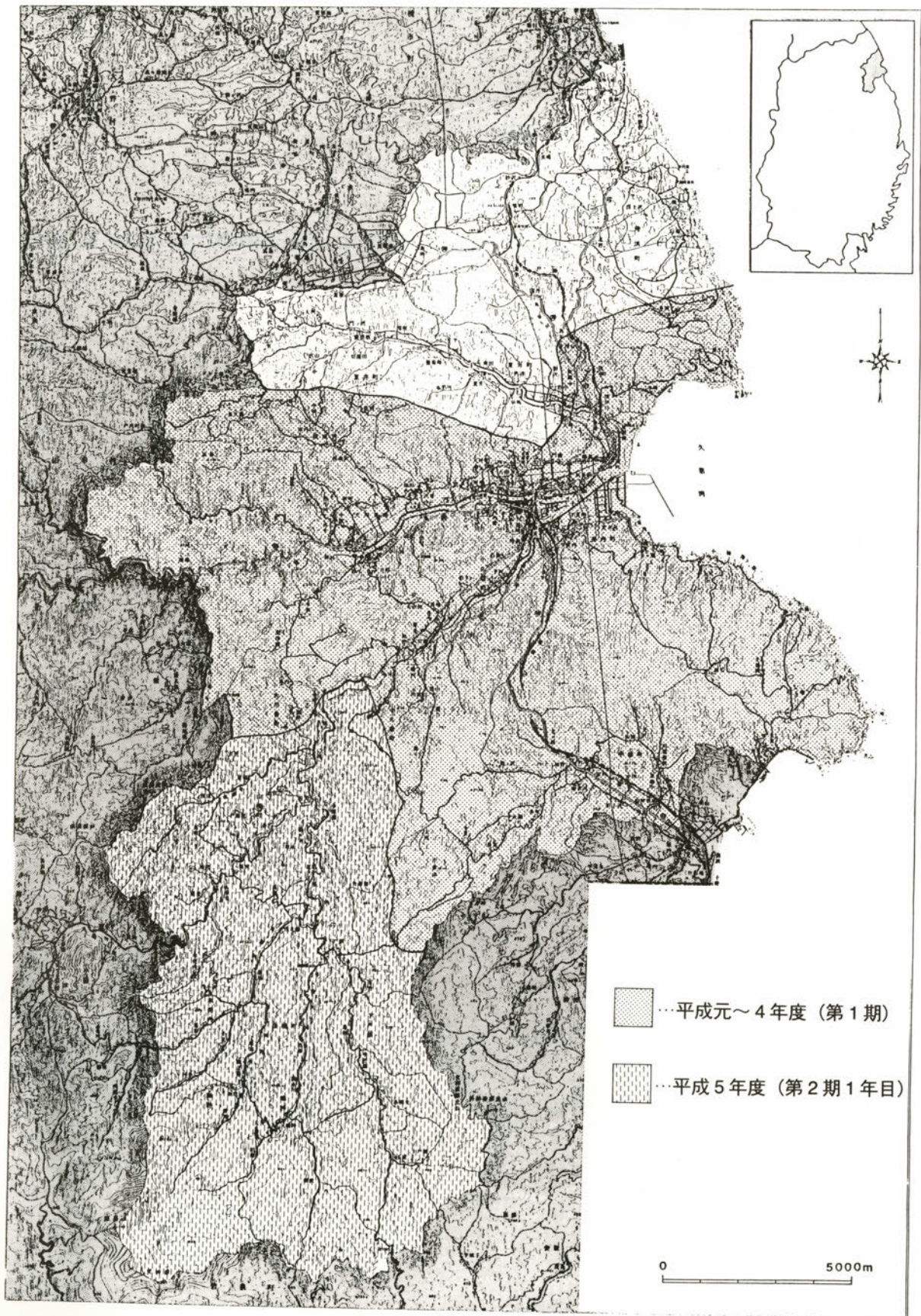
近年、当市内においても各種開発が急増しており、それらに伴う発掘調査件数も増加している。これらの各種開発と埋蔵文化財保護との調整に資するため、遺跡台帳を整備し、遺跡の保護を図ることを目的とし、当市教育委員会では、第1期4年次、第2期3年次計画で国庫補助及び県費補助を導入し遺跡詳細分布調査を実施している。第1期は平成元年度から平成4年度の4年次で実施している。平成5年度は第2期3年次計画の1年目にあたり、山根町地区を主な対象とし、分布調査を実施した(第1図)。

今年度の分布調査の結果、対象地において、周知の遺跡5箇所に加え、新たに23箇所の遺跡が発見された。なお、これまで埋蔵文化財包蔵地として知られていたにもかかわらず、遺跡台帳に未登録であった遺跡については、新発見として取り扱うこととした。山林地においては遺物の表採が不可能で、遺跡の所在が確認できない箇所もあったため、対象地区内における遺跡数はさらに増加することが予想される。

調査の結果は、遺跡詳細分布調査カードに記載し、市教育委員会で保管している。

なお、久慈市は昭和29年11月3日に久慈町、長内町、大川目村、山根村、夏井村、侍浜村、宇部村の2町5村が合併して、市制施行がなされ現在に至っている。遺跡分布図を作成する際に各地区の区分を次のとおりとして取り扱ったので表としてあらわしておく。

大 区 分	小 区 分					
久 慈 地 区	川貫 中町 駅前 源道 栄町 碁石	西の沢 新町 表町 旭町 寺里 広野	荒町 巽町 中の橋 京の森 畑田 中崎	八日町 柏崎 田屋 門前 沢里	十八日町 本町 新井田 新中の橋 枝成沢	二十八日町 川崎町 湊町 天神堂 津内口
小久慈町地区	古山 日吉町 上日当 幸町	誂子 白山 中里	横合 川代 下日当	田高良 和野 大沢田	鉄山 岸里 秋葉	堀内 岩瀬張 柏木
長内町地区	新築町 下長内	田高 元木沢	上長内 平沢	新長内 玉の脇	広美町 二子	中長内 大尻
大川目町地区	生出町 森 田中 馬内	仲小路 山口 神成 根井	新丁 外里 長久保 滝	千草 田子内 根森	三日町 中田 水無	砂子 新町 荒津前
夏井町地区	川代 沢山 夏井 田沢 半崎 菱倉	大芦 切屋田 蕪田 駅前 板橋	中崎 国坂 黒沼 大湊 田中	門の沢 小田 早坂 鼻館 宇津目	富原 生平 野中 住吉 鳥谷	蟹屋敷 葡萄峰 大崎 閉伊口 国丹
待浜町地区	角柄 外屋敷 白前	堀切 本町 本波	砂沢 向町 麦生	長崎 北野	高家 保土沢	桑畑 横沼
宇部町地区	小倉 和野 中田 久喜	大渡 北の越 山屋敷 三崎	長坂 日向 川原屋敷 小袖	馬寄 町 谷地中 小袖沢	大畑 田子沢 山田 館石	滝ノ沢 地京沢 大沢
山根町地区	岩脇 虫豆 棧の木 浅小沢 塚宗 大久保 中戸鎖	深田 馬渡 小田瀬 年越 細工藤 円館 竹倉部	大石 高根 川又 葛形 野頭 栃沢 上戸鎖	長坂 戸鎖沢 木売内 千足 端神 下戸鎖 赤馬立	相沢 遠川 保礼羅 村井 得部 下野 玉沢	横倉 草木 橋場 細野 清水川 馬越



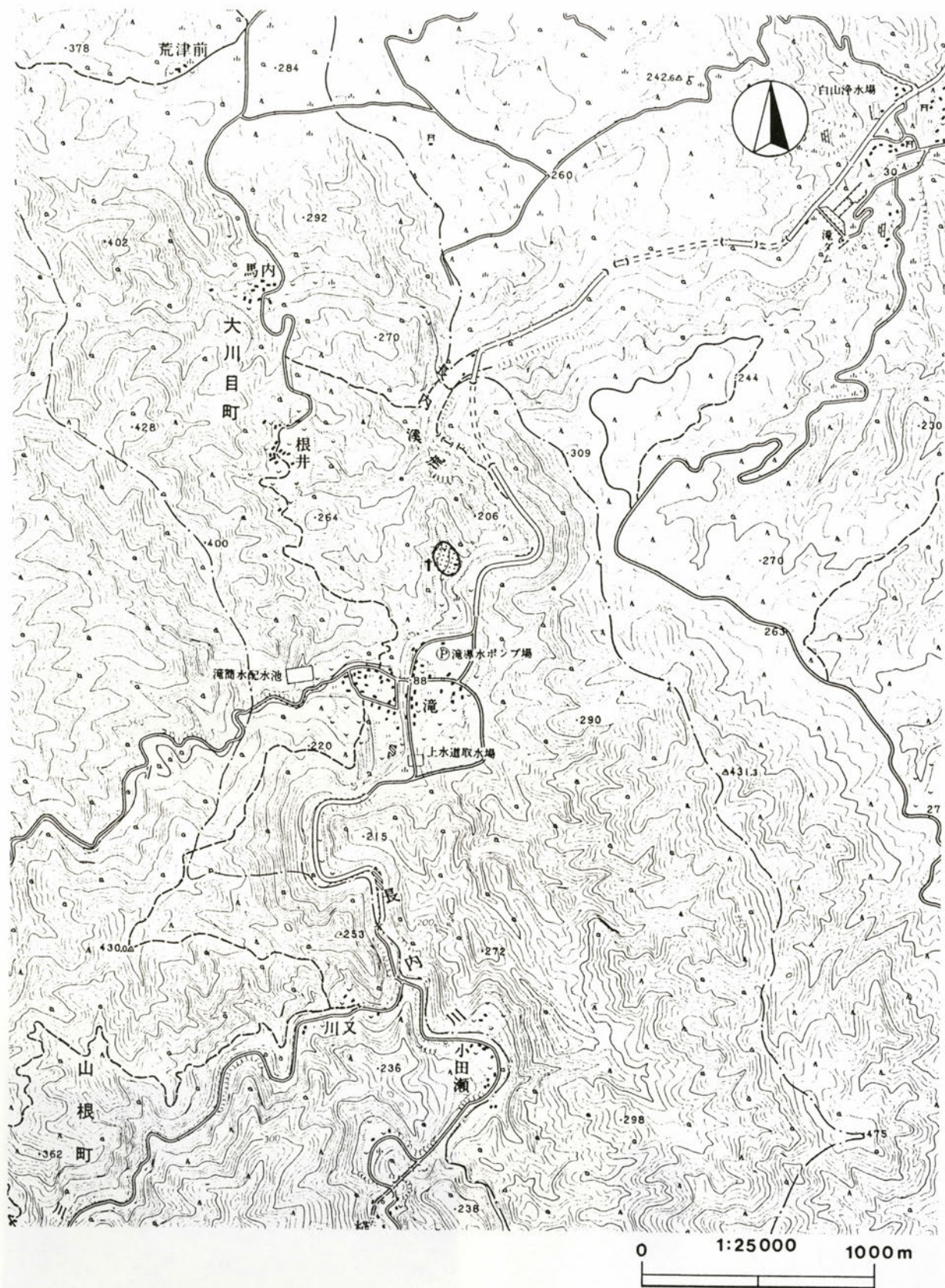
第1図 分布調査対象範囲図

第Ⅱ章 調査結果

1 大川目町滝地区（第2・3図、第1図版）

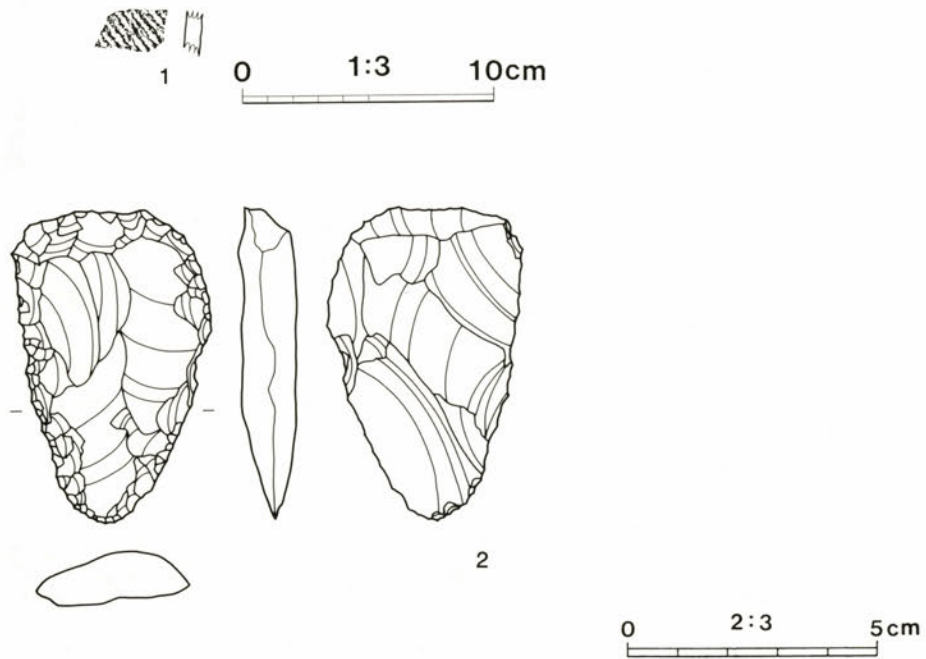
大川目町滝地区は、長内川流域に相当する。

滝遺跡は、標高約100～110mの北西から南東に下る斜面に立地する。現況は畑地及び荒れ地である。縄文土器、石器が表採される。



番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	滝遺跡	JF48.2244	散布地	縄文土器(前期)、石器	大川目町第35地割	

第2図 大川目町滝地区遺跡分布図

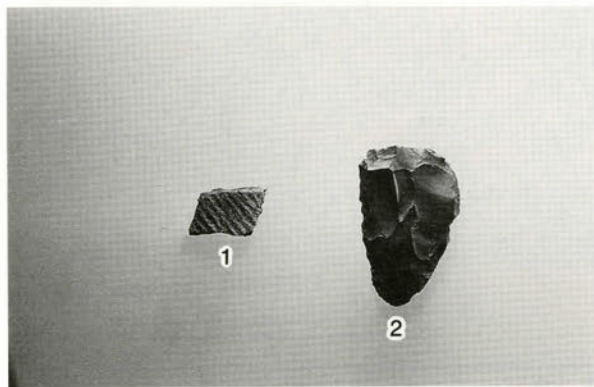


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	滝遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第1図版1

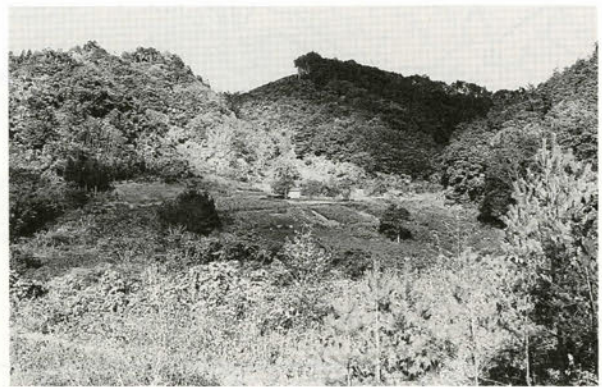
計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量 (単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
2	滝遺跡	スクレイパー		6.2	4.0	1.2	29.0	硬質頁岩	第1図版2	

第3図 大川目町滝地区表採遺物



滝遺跡表採遺物



滝遺跡(南東より)

第1図版 大川目町滝地区表採遺物・遺跡

2 山根町深田地区 (第4～6図、第2～4図版)

山根町深田地区は、長内川流域、長内川の支流深田沢流域及び長内川の支流川又川の流域に相当する。

岩脇遺跡は、長内川の支流深田沢の左岸に位置する。標高約 260mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。遺跡北東辺には深田沢に注ぐ小さな沢が流れている。現況は畑地及び山林である。縄文土器が表採される。

深田Ⅰ遺跡は、長内川の支流深田沢の左岸に位置する。標高約 305mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地及び山林である。縄文土器が表採される。

深田Ⅱ遺跡は、長内川の支流深田沢の左岸、深田Ⅰ遺跡西方約 200mに位置する。深田Ⅰ遺跡と深田Ⅱ遺跡の間には沢が南流する。標高約 310～320mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

長坂Ⅰ遺跡は、深田沢の支流の左岸に位置する。標高約 400～410mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は山林であるが、一部立木が伐採されており、その切り出し道に遺物が散布している。遺跡の周囲は丘陵地形となっており、丘陵に囲まれた凹地において遺物が表採される。遺跡南辺には小さな沢が東流している。縄文土器、石鏃が表採される。

長坂Ⅱ遺跡は、長坂Ⅰ遺跡の南方約150mの丘陵をひとつ挟んだ北西から南東に下る緩斜面に立地する。標高は約400mである。現況は畑地である。遺跡南辺には沢が東流している。縄文土器が表採される。

横倉Ⅰ遺跡は、長内川の支流である川又川の左岸に位置する。標高約290～300mの北西から南東に延びる丘陵の南西側斜面に立地する。現況は畑地である。遺跡の南西辺には沢が流れている。縄文土器、土師器が表採される。

横倉Ⅱ遺跡は、横倉Ⅰ遺跡の南方約150mに位置し、北西から南東に延びる丘陵の北東斜面標高約260mに立地する。丘陵の北東側及び南西側には沢が流れている。現況は畑地及び山林である。縄文土器、土師器が表採される。

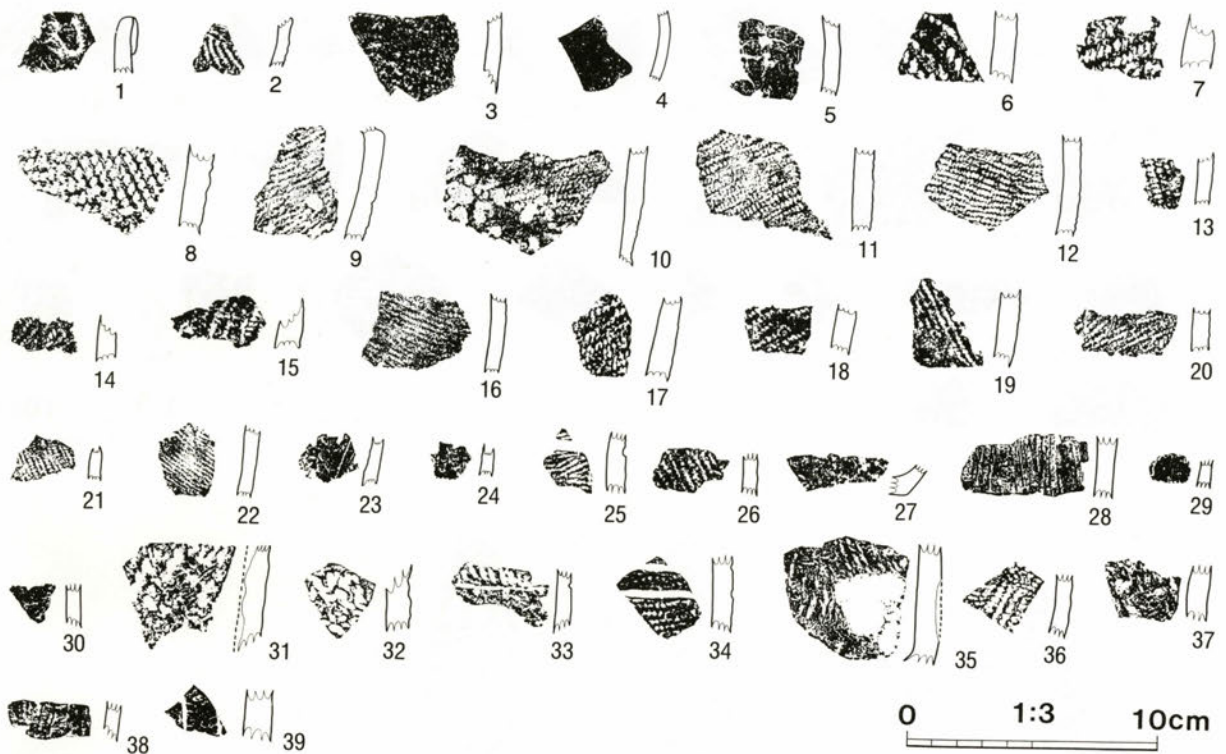
横の木遺跡は、長内川の左岸、標高約140mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器、磨製石斧、石槍が表採される。遺物の分布密度は比較的濃い。

高根遺跡は、標高約310～320mの北から南に下る斜面に立地する。比較的急な傾斜地である。遺跡の南側に小さな沢が流れており、その沢近くにおいて傾斜がやや緩くなっている。縄文土器が表採される。



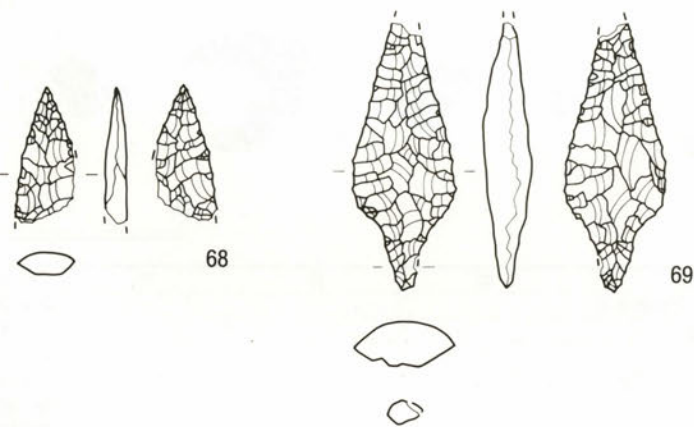
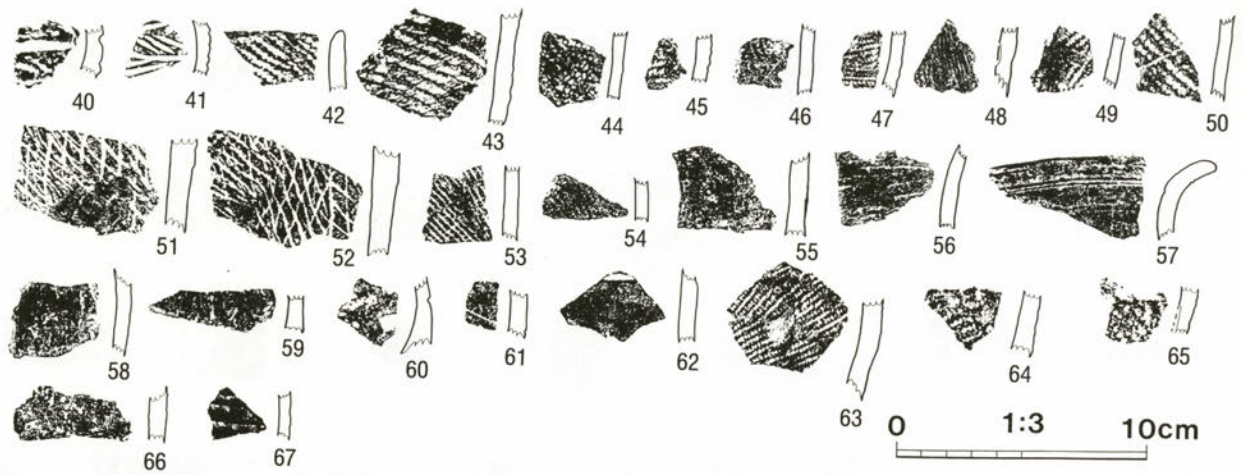
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	岩腸遺跡	J F 58.0094	散布地	縄文土器(後期)、土師器	山根町字深田第6地割	新規
2	深田Ⅰ遺跡	J F 57.1337	散布地	縄文土器(前期)	山根町字深田第6地割	新規
3	深田Ⅱ遺跡	J F 57.1345	散布地	縄文土器(前期)	山根町字深田第5地割	新規
4	長坂Ⅰ遺跡	J F 57.2312	散布地	縄文土器(後期)、石鎌、土師器	山根町字深田第6地割	新規
5	長坂Ⅱ遺跡	J F 57.2322	散布地	土師器	山根町字深田第4地割	新規
6	横倉Ⅰ遺跡	J F 67.0393	散布地	縄文土器(後期)、土師器	山根町字深田第1地割	新規
7	横倉Ⅱ遺跡	J F 67.1314	散布地	縄文土器(前・後期)	山根町字深田第1地割	新規
8	椀の木遺跡	J F 58.2231	散布地	縄文土器(後期)、土師器、石槍	山根町字深田第12地割	新規
9	高根遺跡	J F 68.0166	散布地	縄文土器(後期)、土師器	山根町字深田第14地割	新規

第4図 山根町深田地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	岩脇遺跡	縄文土器深鉢	降帯、網目状燃糸文		第2図版1
2	岩脇遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第2図版2
3	岩脇遺跡	縄文土器深鉢	縄文磨滅		第2図版3
4	岩脇遺跡	土師器甕	外面ミガキ、内面ナデ		第2図版4
5	岩脇遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ、		第2図版5
6	深田Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節	繊維含	第2図版6
7	深田Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第2図版7
8	深田Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	R L R複節	繊維含	第2図版8
9	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版9
10	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版10
11	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版11
12	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版12
13	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第2図版13
14	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版14
15	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第2図版15
16	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版16
17	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版17
18	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第2図版18
19	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版19
20	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版20
21	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版21
22	長坂Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第2図版22
23	長坂Ⅱ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版23
24	長坂Ⅱ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版24
25	横倉Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第2図版25
26	横倉Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第2図版26
27	横倉Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第2図版27
28	横倉Ⅰ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版28
29	横倉Ⅰ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版29
30	横倉Ⅰ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版30
31	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	縄文不明	繊維含	第2図版31
32	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	縄文不明	繊維含	第2図版32
33	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、連続刻目		第2図版33
34	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L単節		第2図版34
35	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文	繊維含	第2図版35
36	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	R L単節	繊維含	第2図版36
37	横倉Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第2図版37
38	横倉Ⅱ遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第2図版38
39	横倉Ⅱ遺跡	土師器甕	底部木葉痕		第2図版39

第5図 山根町深田地区表採遺物(1)

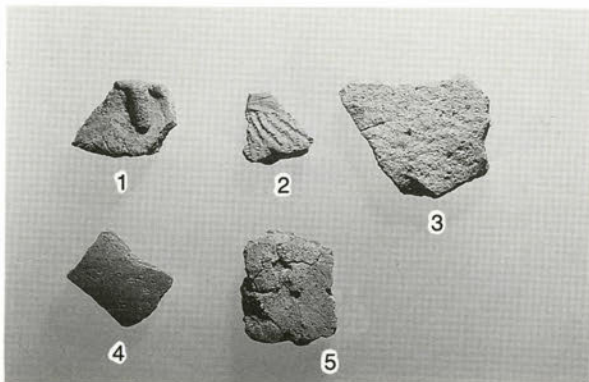


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
40	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第2図版40
41	椀の木遺跡	縄文土器鉢	沈線文		第2図版41
42	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版42
43	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版43
44	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版44
45	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版45
46	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第2図版46
47	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版47
48	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	燃糸文		第2図版48
49	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版50
50	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第2図版49
51	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文		第2図版51
52	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	網目状燃糸文		第2図版52
53	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	燃糸文		第2図版53
54	椀の木遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第3図版1
55	椀の木遺跡	縄文土器深鉢?	無文(土器器?)		第3図版2
56	椀の木遺跡	縄文土器深鉢?	無文		第3図版3
57	椀の木遺跡	土師器甕	ヨコナデ		第3図版4
58	椀の木遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面刷毛目		第3図版5
59	椀の木遺跡	土師器甕	内外面ヘラナデ		第3図版6
60	椀の木遺跡	土師器甕	内外面ナデ		第3図版7
61	椀の木遺跡	土師器甕?	無文		第3図版8
62	高根遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第3図版10
63	高根遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第3図版11
64	高根遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第3図版12
65	高根遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第3図版13
66	高根遺跡	土師器甕?	内外面ナデ		第3図版14
67	高根遺跡	土師器甕?	ロクロ目?		第3図版15

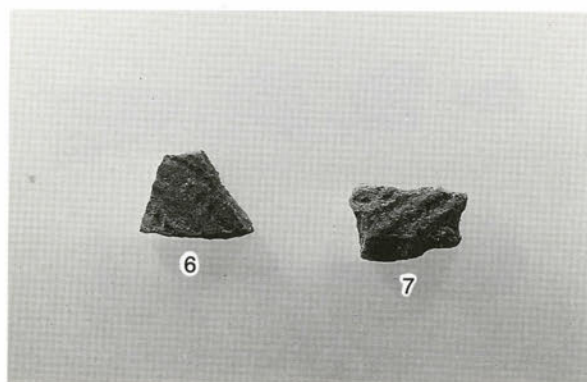
計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
68	長坂I遺跡	石鏃		(2.7)	(1.2)	(0.5)	(1.2)	硬質頁岩		
69	椀の木遺跡	石槍	凸基有茎	(5.3)	2.1	1.0	(8.1)	石灰岩	第3図版9	

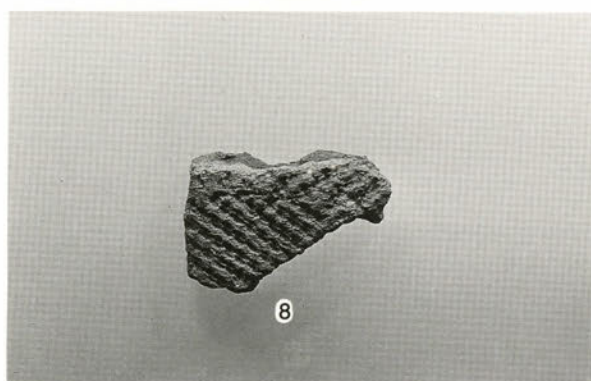
第6図 山根町深田地区表採遺物(2)



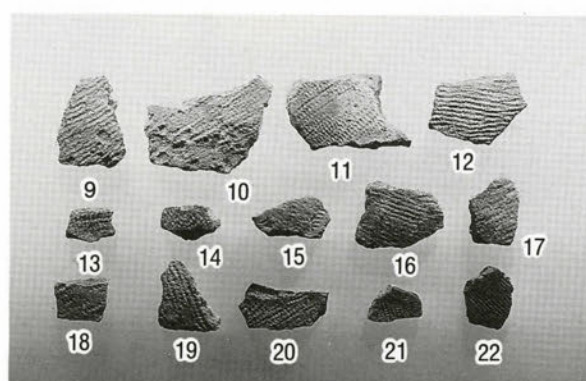
岩脇遺跡



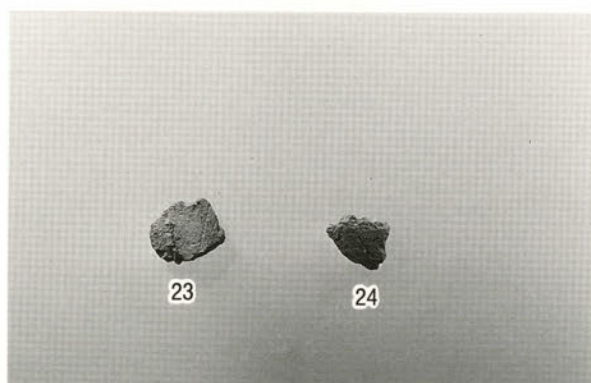
深田 I 遺跡



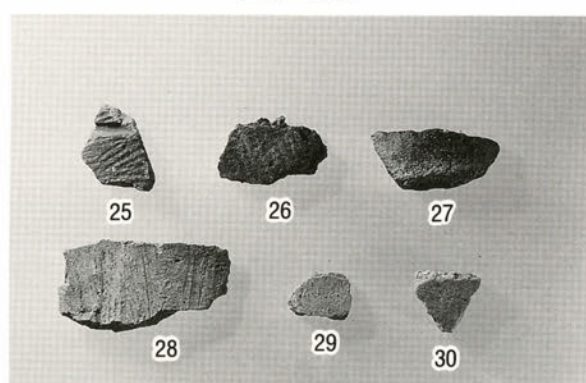
深田 II 遺跡



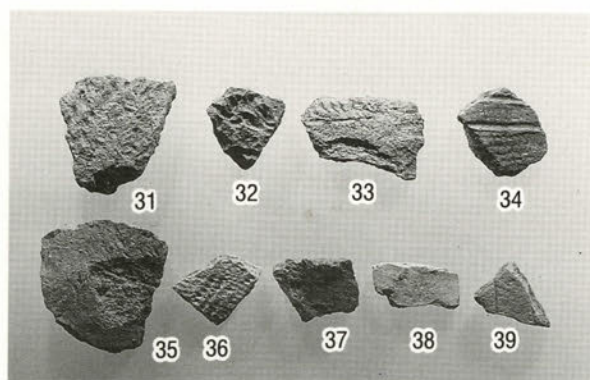
長坂 I 遺跡



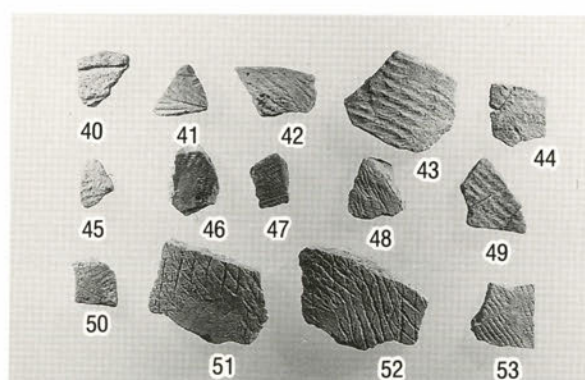
長坂 II 遺跡



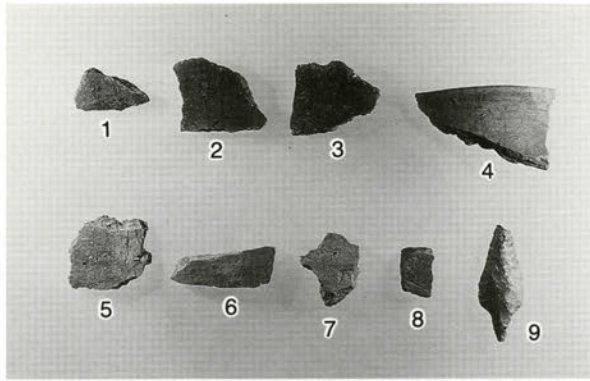
横倉 I 遺跡



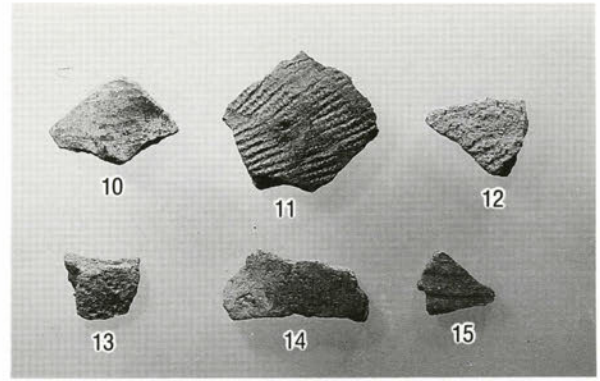
横倉 II 遺跡



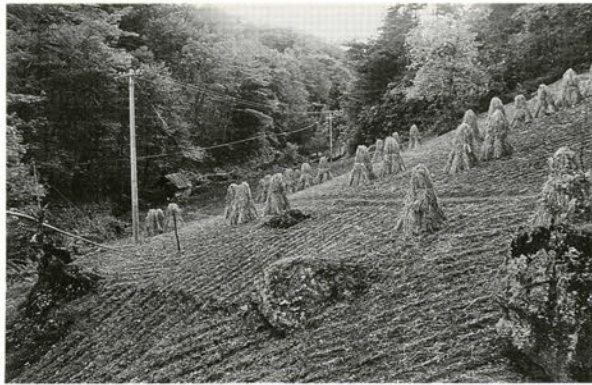
椀の木遺跡



棧の木遺跡



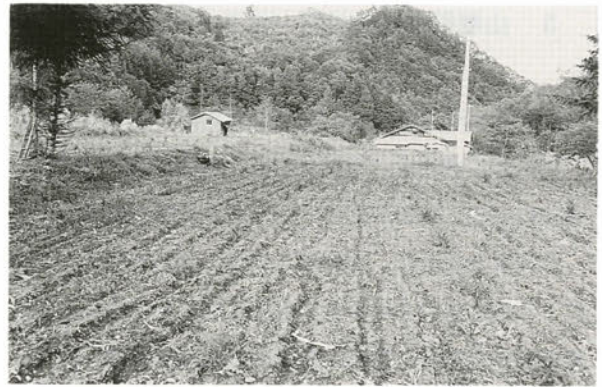
高根遺跡



高根遺跡（北東より）



岩脇遺跡（南東より）



深田Ⅰ遺跡（南西より）



深田Ⅱ遺跡（南西より）



長坂Ⅰ遺跡（南東より）



長坂Ⅱ遺跡（東より）



横倉Ⅰ遺跡（西より）



横倉Ⅱ遺跡（南西より）



椋の木遺跡（南より）

3 山根町木売内地区 (第7～9図、第5・6図版)

山根町木売内地区は、長内川の支流である川又川上流域及び葛形沢流域に相当する。

保礼羅Ⅰ遺跡は、葛形沢左岸、標高約230～240mの北から南に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。遺跡の東辺に沢が流れている。縄文土器が表採される。

保礼羅Ⅱ遺跡は、保礼羅Ⅰ遺跡の南西約500m、葛形沢左岸に位置する。標高約230～240mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地及び荒地である。遺跡南東辺には沢が流れている。縄文土器、弥生土器が表採される。遺物の散布密度は比較的濃い。

橋場遺跡は、葛形沢左岸、標高約250～260mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

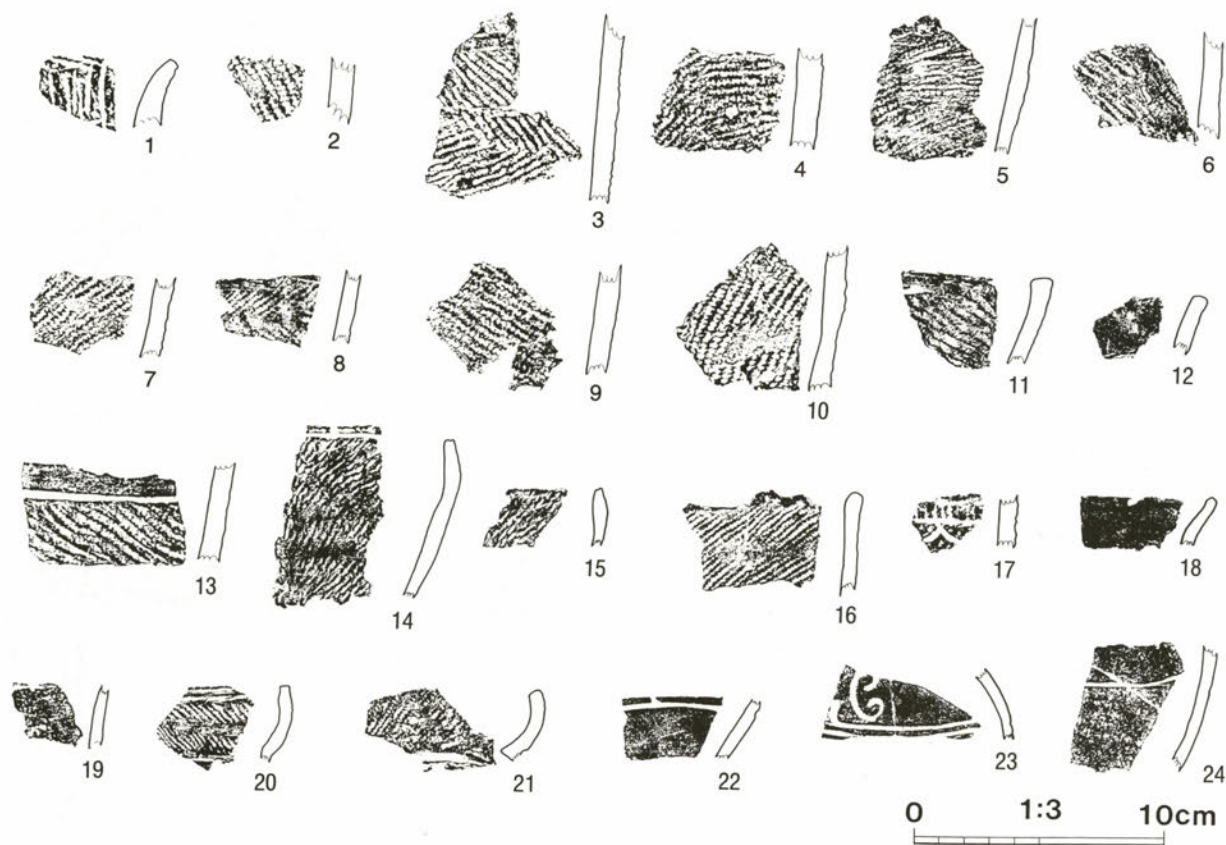
年越遺跡は、葛形沢右岸、標高約290～300mの南から北に下る斜面に立地する。遺跡北半はやや傾斜が緩いが、南半は傾斜がきつくなる。現況は畑地である。遺跡北東辺に沢が流れている。縄文土器が表採される。

千足遺跡は、葛形沢右岸、標高約340～350mの南東から北西に下る緩斜面に立地する。現況は畑地及び牧草地である。縄文土器が表採される。



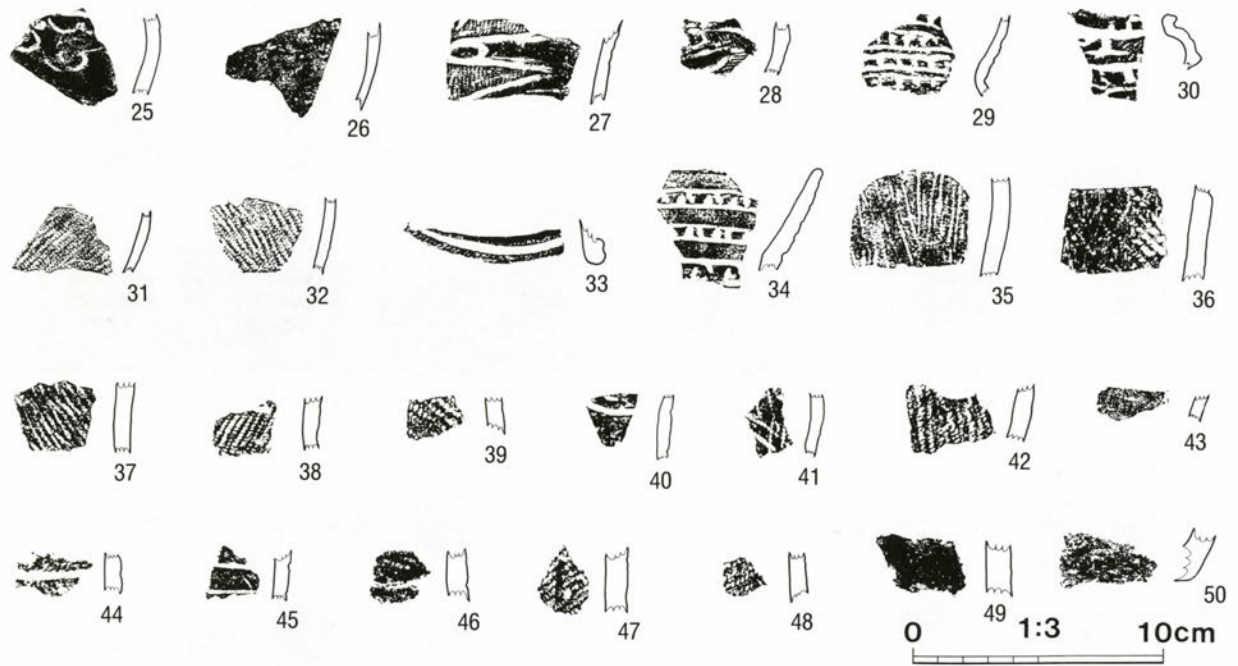
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	保礼羅Ⅰ遺跡	J F 68.1156	散布地	縄文土器(前期)	山根町字木壳内第10地割	新規
2	保礼羅Ⅱ遺跡	J F 68.1173	散布地	縄文土器(前・後・晩期)、弥生土器	山根町字木壳内第10地割	新規
3	橋場遺跡	J F 68.2087	散布地	縄文土器(後期)	山根町字木壳内第9地割	新規
4	年越遺跡	J F 78.0084	散布地	縄文土器(後期)	山根町字木壳内第3地割	新規
5	千足遺跡	J F 78.1080	散布地	縄文土器(後期)	山根町字木壳内第3地割	新規

第7図 山根町木壳内地区遺跡分布図



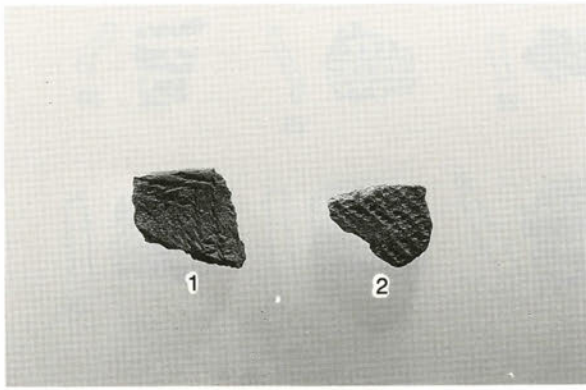
番号	遺跡名	器種	文	様	備	考	写真図版
1	保礼羅 I 遺跡	縄文土器深鉢	撚糸文		纖維含		第 5 図版 1
2	保礼羅 I 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 2
3	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文		纖維含		第 5 図版 3
4	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 4
5	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 5
6	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節		纖維含		第 5 図版 6
7	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		纖維含		第 5 図版 7
8	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文				第 5 図版 8
9	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 9
10	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 10
11	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節				第 5 図版 11
12	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	無文				第 5 図版 12
13	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L 単節				第 5 図版 13
14	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	無節、口唇上連続刺突文		纖維含		第 5 図版 14
15	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	無節、口唇上連続刺突文		纖維含		第 5 図版 15
16	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	突起、L R 単節				第 5 図版 16
17	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、連続刻目				第 5 図版 17
18	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	無文				第 5 図版 18
19	保礼羅 II 遺跡	縄文土器深鉢	沈線文				第 5 図版 19
20	保礼羅 II 遺跡	縄文土器注口?	L R 単節				第 5 図版 20
21	保礼羅 II 遺跡	縄文土器注口?	L R 単節				第 5 図版 21
22	保礼羅 II 遺跡	縄文土器鉢	沈線文				第 5 図版 22
23	保礼羅 II 遺跡	縄文土器鉢	沈線文				第 5 図版 23
24	保礼羅 II 遺跡	縄文土器鉢	沈線文				第 5 図版 24

第 8 図 山根町木壳内地区表採遺物(1)

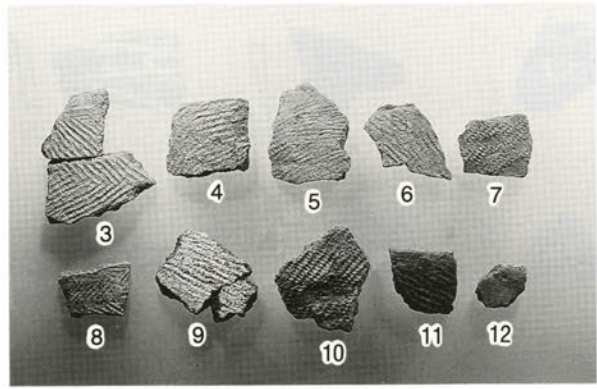


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
25	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文		第5図版25
26	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	無文		第5図版26
27	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	雲形文、磨消縄文、LR単節		第5図版27
28	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	磨消縄文、小突起、RL単節		第5図版28
29	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	羊歯状文		第5図版29
30	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	C字文		第5図版30
31	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		第5図版31
32	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、RL単節		第5図版32
33	保礼羅Ⅱ遺跡	縄文土器台部	沈線文、LR単節		第5図版33
34	保礼羅Ⅱ遺跡	弥生土器深鉢	平行沈線文、交互刺突		第5図版34
35	保礼羅Ⅱ遺跡	弥生土器深鉢	撚糸文		第5図版35
36	橋場遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第5図版36
37	橋場遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第5図版37
38	橋場遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第5図版38
39	橋場遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第5図版39
40	年越遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第5図版40
41	年越遺跡	縄文土器深鉢	網目状撚糸文		第5図版41
42	年越遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第5図版42
43	年越遺跡	縄文土器深鉢	無文		第5図版43
44	千足遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第5図版44
45	千足遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第5図版45
46	千足遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節?		第5図版46
47	千足遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第5図版47
48	千足遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第5図版48
49	千足遺跡	縄文土器深鉢	無文		第5図版49
50	千足遺跡	縄文土器深鉢	無文		第5図版50

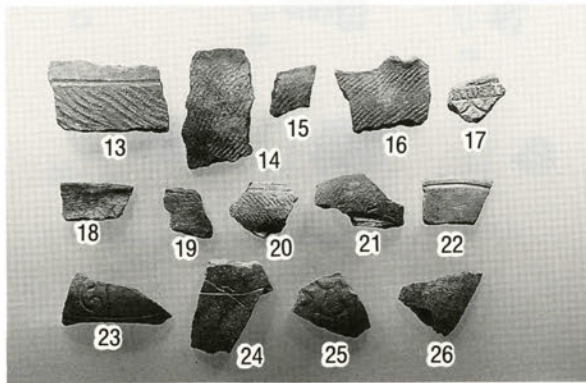
第9図 山根町木壳内地区表採遺物(2)



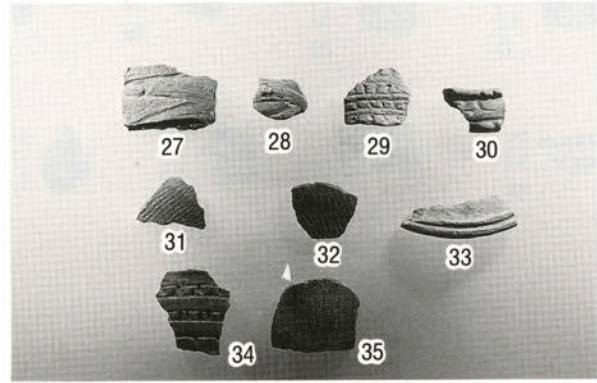
保礼羅 I 遺跡



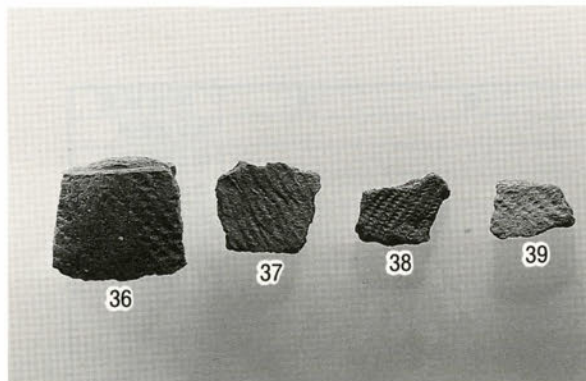
保礼羅 II 遺跡



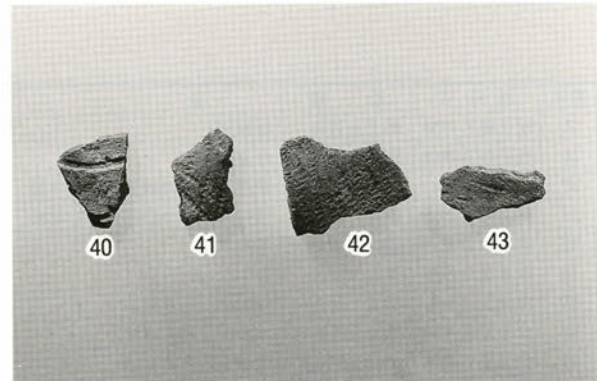
保礼羅 II 遺跡



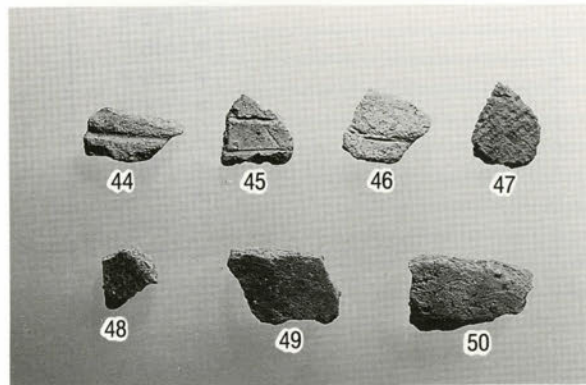
保礼羅 II 遺跡



橋場遺跡



年越遺跡



千足遺跡

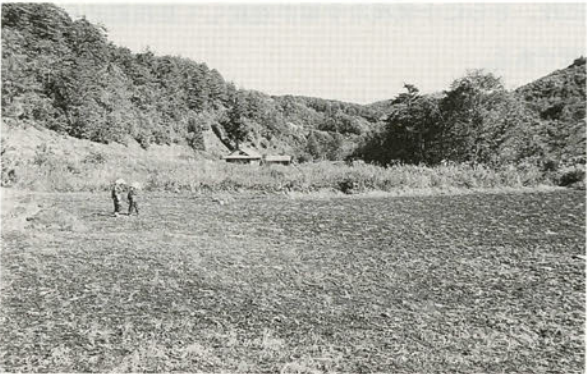
第 5 図版 山根町木壳内地区表採遺物



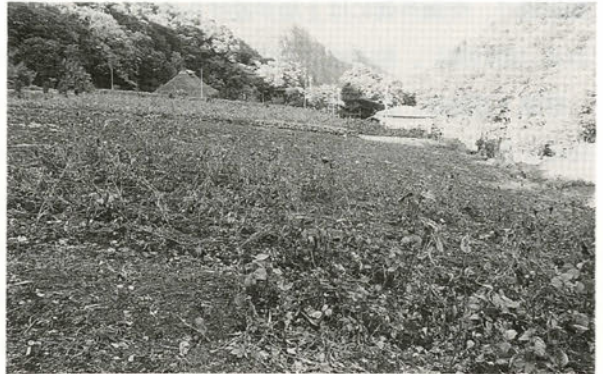
保礼羅Ⅰ遺跡（東北より）



保礼羅Ⅱ遺跡（北東より）



保礼羅Ⅱ遺跡（南西より）



橋場遺跡（南より）



年越遺跡（奥の斜面 北より）



千足遺跡（南西より）

4 山根町細野地区 (第10～13図、第7・8図版)

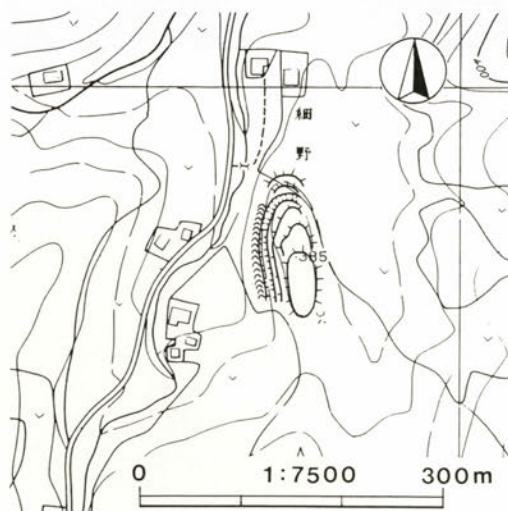
山根町細野地区は、長内川の支流である細野沢流域に相当する。

細工藤遺跡は、細野沢左岸、標高約340～350mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。遺跡南辺に沢が東流している。縄文土器が表採される。

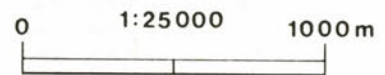
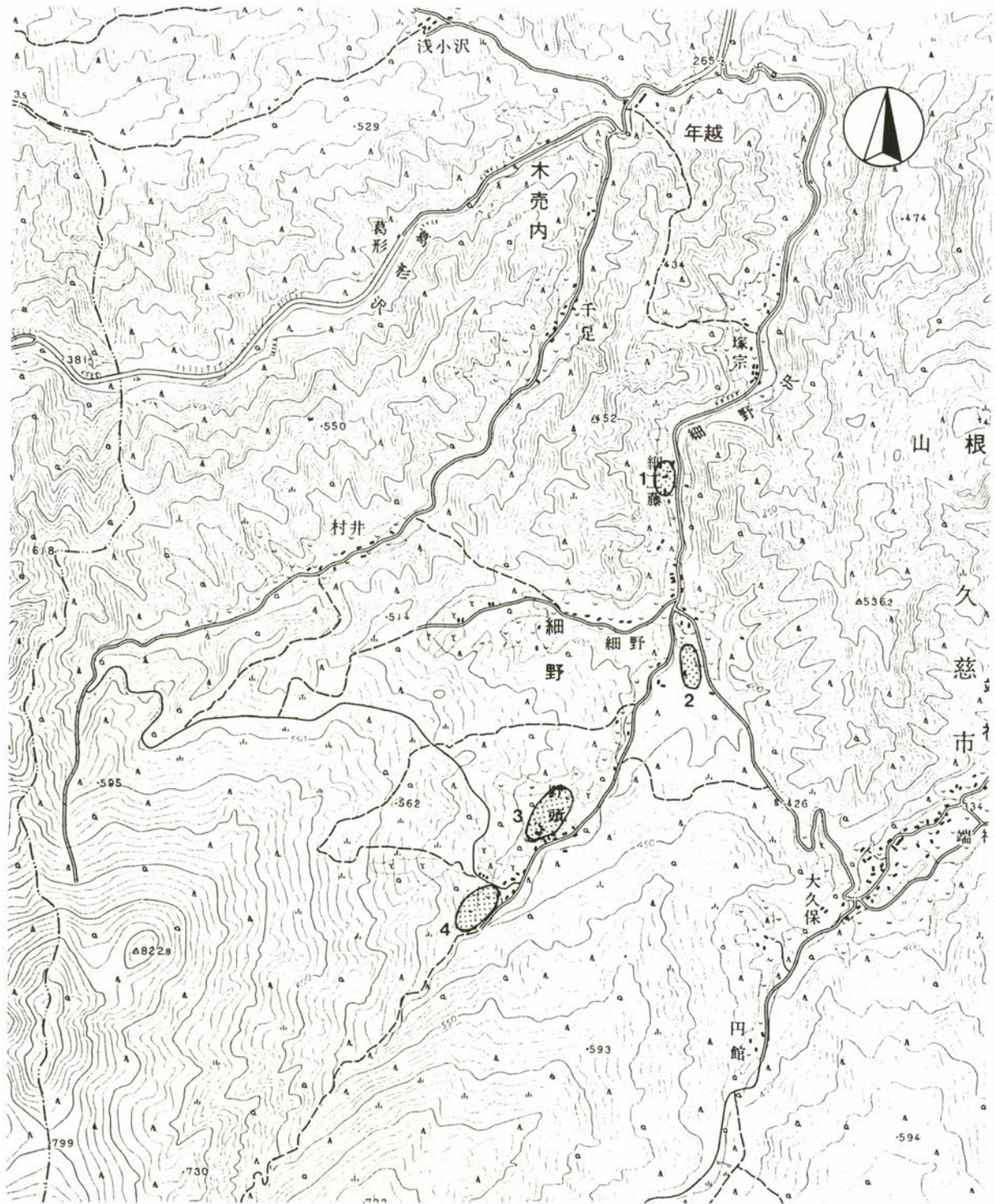
細野館は、細野沢とその支流に挟まれ北に延びる標高約 370～ 385mの丘陵に立地する平山城である。現況は山林である。丘陵頂部には、愛宕山神社が鎮座している。遺構は、主郭、空堀、土塁が残存している。館跡は南北に長く、南側の最も高い面が主郭で、南北約70m、東西約20mの規模である。主郭北側に二段の小規模な平場が認められる。この主郭と二段の平場を取り囲むように西側から北側にかけて長さ約 250mにわたり空堀が廻り、空堀外側には土塁が設けられている。空堀の北側には、さらに小規模な平場が連続して数段認められる(第10図)。館主は、八屋氏とされているが、詳細は不明である。

野頭Ⅰ遺跡は、細野沢左岸、標高約420～430mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。遺跡と細野沢の間には小さな沢が細野沢に沿って流れている。現況は畑地である。縄文土器が表採される。

野頭Ⅱ遺跡は、細野沢左岸、標高約450～460mのほぼ平坦面に立地する。現況は畑地及び牧草地である。遺跡北辺には小さな沢が流れている。縄文土器、石器が表採される。遺物の散布密度は濃く、付近に住む小上好文氏が本遺跡から採集した遺物を保管している(第7図版)。保管している遺物は縄文時代後期の深鉢の破片、縄文時代の磨製石斧、石鏃、石錐、小形磨製石斧等である。

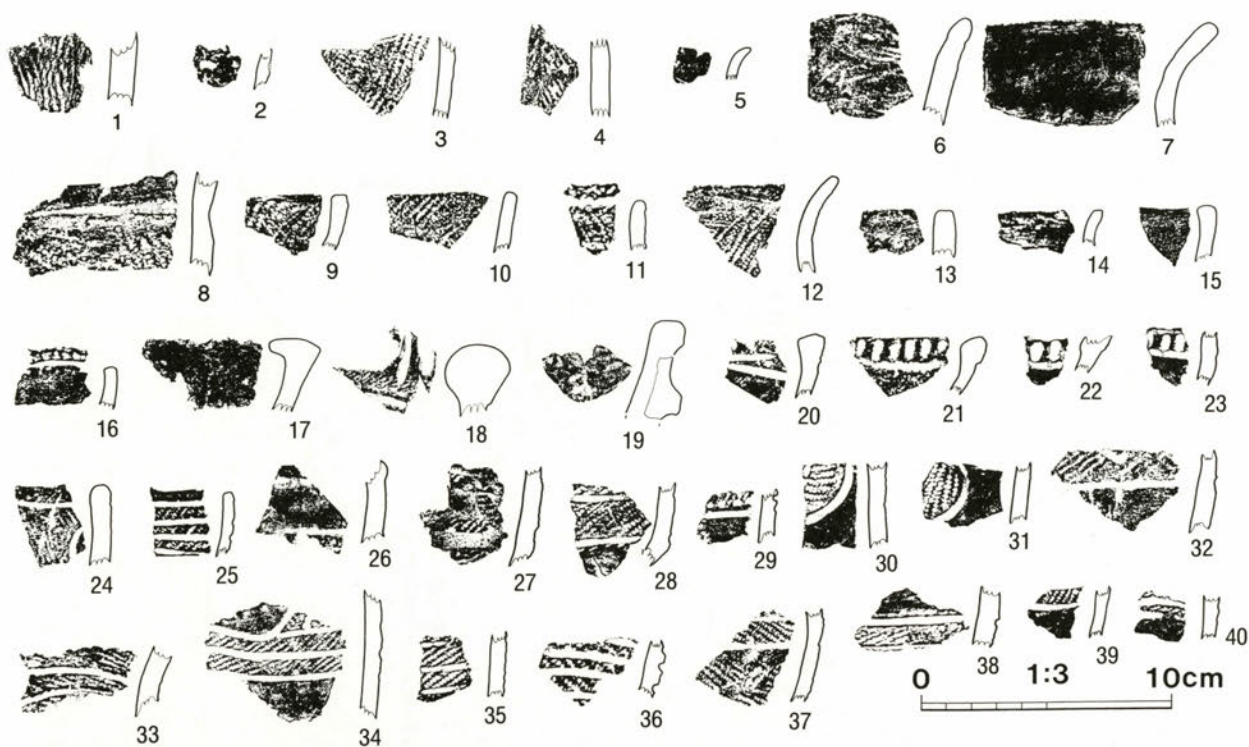


第10図 細野館平面略図



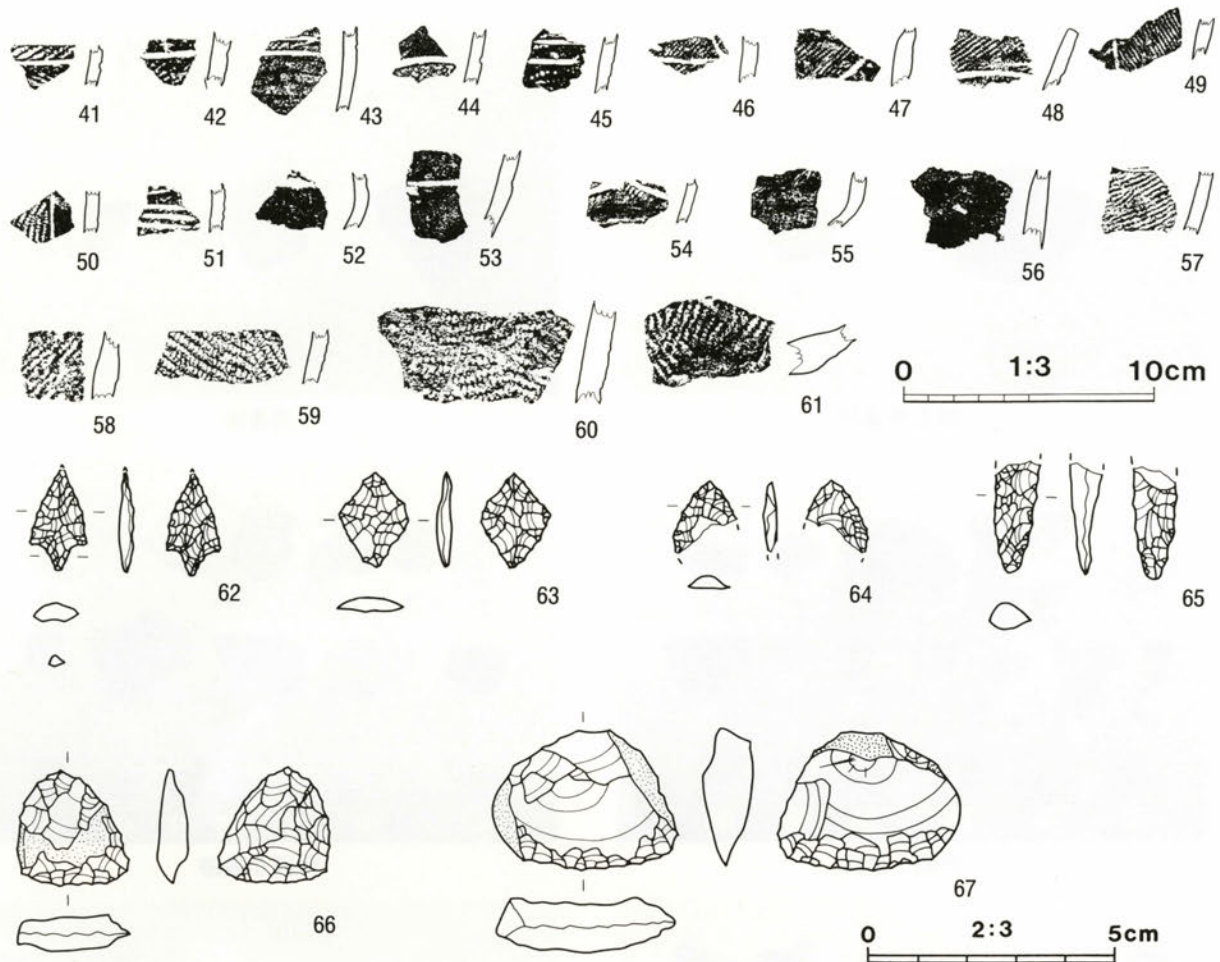
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	細工藤遺跡	J F 78.2035	散布地	縄文土器	山根町字細野第4地割	新規
2	細野館	J F 88.0017	城館跡	主郭、空堀、土塁	山根町字細野第2地割	昭和59年度城館調査
3	野頭Ⅰ遺跡	J F 88.0081	散布地	縄文土器(後期)	山根町字細野第1地割	
4	野頭Ⅱ遺跡	J F 87.1317	散布地	縄文土器(前・中・後・晩期)、石鏃、石斧	山根町字細野第1地割	新規

第11図 山根町細野地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	細工藤遺跡	縄文土器深鉢	無節		第7図版1
2	細工藤遺跡	土師器甕?	磨減顯著		第7図版2
3	野頭Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第7図版3
4	野頭Ⅰ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第7図版4
5	野頭Ⅰ遺跡	縄文土器?	無文		第7図版5
6	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無節		第7図版6
7	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第7図版7
8	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第7図版8
9	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第7図版9
10	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第7図版10
11	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節、口唇上縄文	繊維含	第7図版11
12	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第7図版12
13	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	磨減顯著	繊維含	第7図版13
14	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第7図版14
15	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第7図版15
16	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文、口唇上刻目		第7図版16
17	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		第7図版17
18	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	突起、沈線文、LR単節		第7図版18
19	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	突起部		第7図版19
20	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	刻目、沈線文		第7図版20
21	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	刻目		第7図版21
22	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	刻目、沈線文		第7図版22
23	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	刻目、沈線文		第7図版23
24	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第7図版24
25	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版25
26	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第7図版26
27	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	隆带上LR縄文		第7図版27
28	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版28
29	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、円形刺突文、LR単節		第7図版29
30	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第7図版30
31	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版31
32	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版32
33	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版33
34	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、竹管状刺突文、LR単節		第7図版34
35	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版35
36	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第7図版36
37	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第7図版37
38	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版38
39	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版39
40	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第7図版40

第12図 山根町細野地区表採遺物(1)

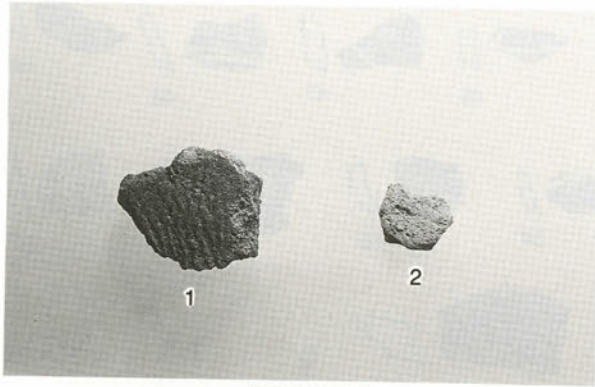


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
41	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		
42	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		
43	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		
44	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		
45	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		
46	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		
47	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		
48	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		
49	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		
50	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、LR単節		
51	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		
52	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器壺	無文		
53	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢?	沈線文		
54	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、刺突文、LR単節		
55	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器壺	無文		
56	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	無文		
57	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器鉢	沈線文、RL単節		
58	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		
59	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		
60	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		
61	野頭Ⅱ遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		

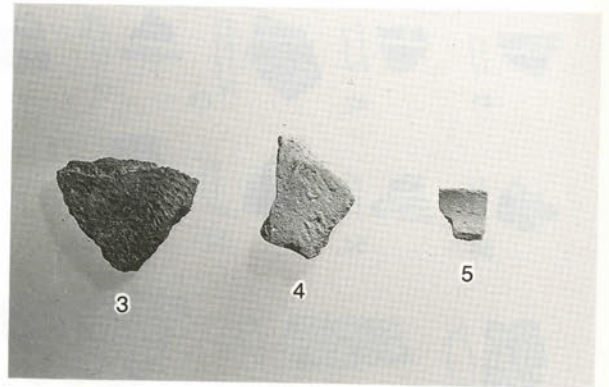
計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
62	野頭Ⅱ遺跡	石鏃	平基有茎	(2.0)	1.1	0.3	(0.5)	硬質頁岩	第7図版62	
63	野頭Ⅱ遺跡	石鏃	菱形	1.9	1.4	0.3	0.6	硬質頁岩	第7図版63	
64	野頭Ⅱ遺跡	石鏃	?	(1.4)	(1.2)	(0.3)	(0.2)	瑪瑙	第7図版64	
65	野頭Ⅱ遺跡	?		(2.2)	(0.9)	(0.7)	(0.9)	硬質頁岩	第7図版65	
66	野頭Ⅱ遺跡	スクレイパー		2.3	2.2	0.7	4.1	硬質頁岩	第7図版66	
67	野頭Ⅱ遺跡	スクレイパー		2.8	3.7	1.1	11.4	硬質頁岩	第7図版67	

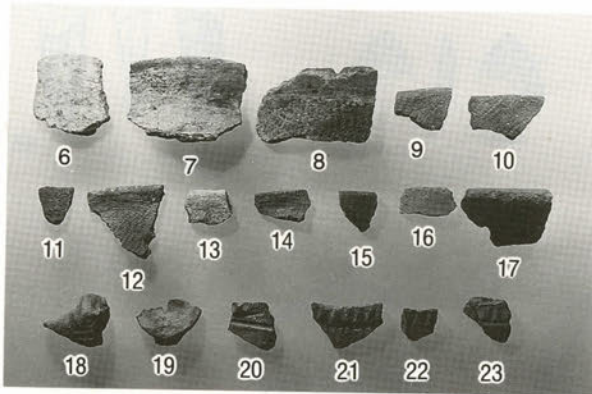
第13図 山根町細野地区表採遺物(2)



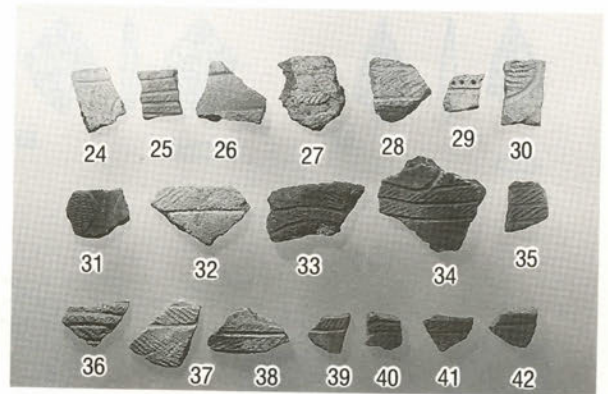
細工藤遺跡



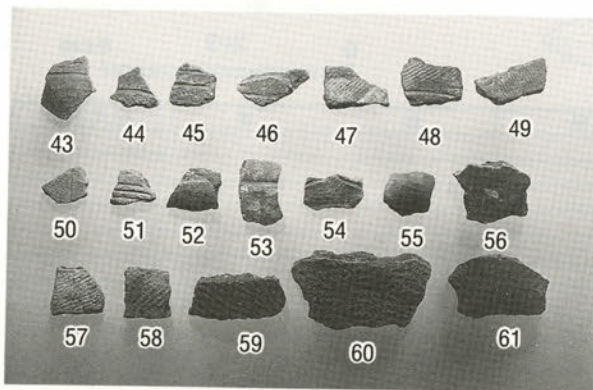
野頭遺跡



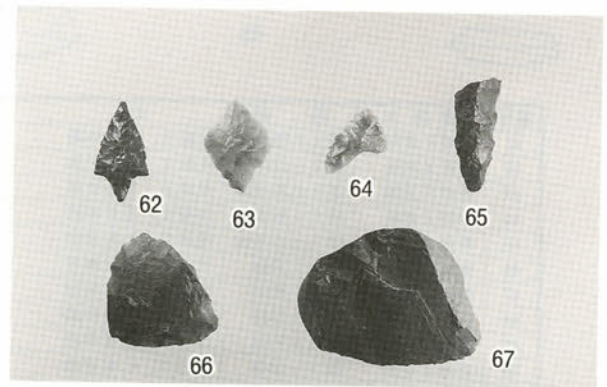
野頭II遺跡



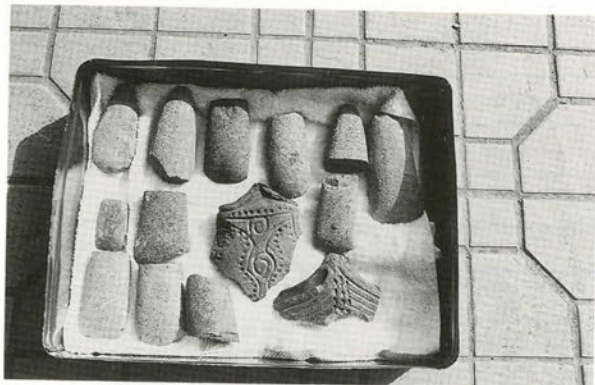
野頭II遺跡



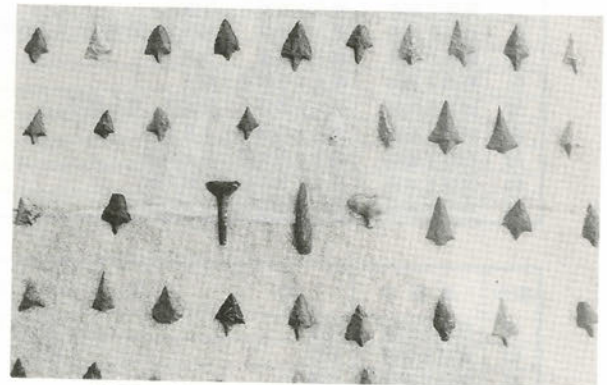
野頭II遺跡



野頭II遺跡



野頭II遺跡採集遺物 (小上好文氏所蔵)



野頭II遺跡採集遺物 (小上好文氏所蔵)

第7図版 山根町細野地区表採遺物



細工藤遺跡（北東より）



細野館（北より）



野頭Ⅰ遺跡（南西より）



野頭Ⅱ遺跡（北東より）

5 山根町端神地区（第14～16図、第9・10図版）

山根町端神地区は、長内川の支流である南畑沢の流域に相当する。

清水川遺跡は、南畑沢左岸、標高約300mのほぼ平坦面に立地する。現況は畑地及び牧草地である。遺跡北辺には沢が流れている。縄文土器が表採される。

端神遺跡は、南畑沢右岸、標高約340～380mの南西から北東に下る緩斜面に立地する。斜面に沿って遺跡の中央を沢が流れている。現況は水田及び畑地である。縄文土器及び土師器が表採される。縄文土器は全体的に散布しており、土師器は北東の低位面で表採される。本遺跡から採集された遺物が、端神公民館に保管されている（第9図版）。採集者は付近に住む伊藤仁三郎氏である。縄文時代後期の土器、石鏃、磨製石斧等が保管されている。

大久保遺跡は、南畑沢左岸、標高約410～430mの北西から南東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。遺跡北東辺には沢が流れている。縄文土器が表採される。

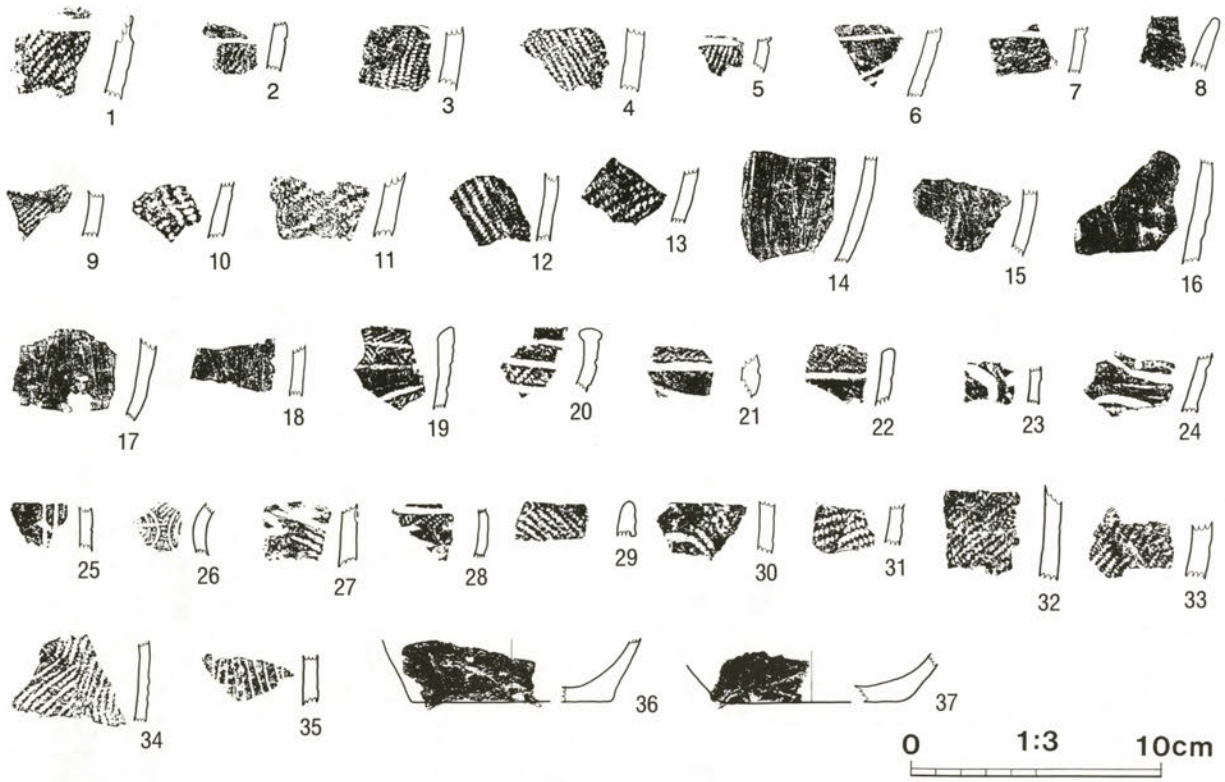
円館遺跡は、南畑沢左岸、標高約420mの西から東に下る緩斜面に立地する。現況は畑地である。縄文土器が表採される。



0 1:25000 1000 m

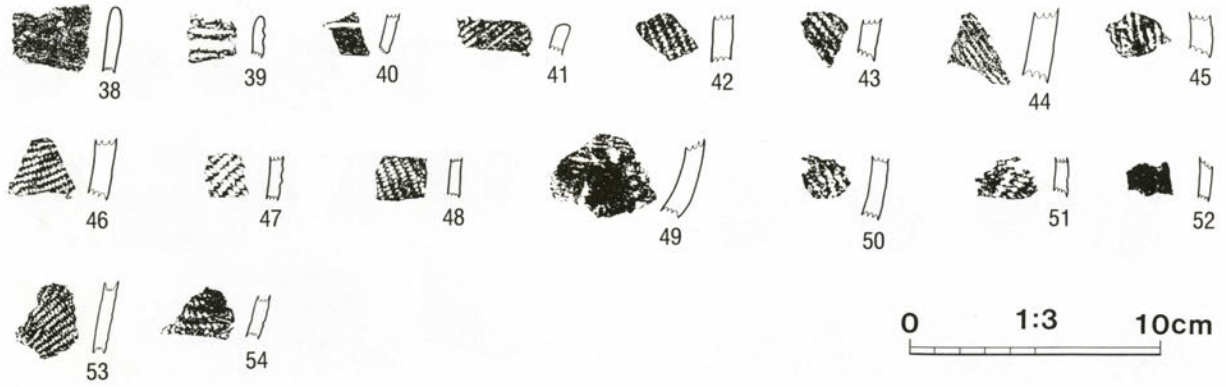
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	清水川遺跡	J F 78.2270	散布地	縄文土器(後期)	山根町字端神第5地割	新規
2	端神遺跡	J F 88.1126	散布地	縄文土器(後期)、石鎌、石斧、土師器	山根町字端神第2地割	
3	大久保遺跡	J F 88.1110	散布地	縄文土器(後期)	山根町字端神第1地割	新規
4	円館遺跡	J F 88.1050	散布地	縄文土器(後期)	山根町字端神第1地割	新規

第14図 山根町端神地区遺物分布図



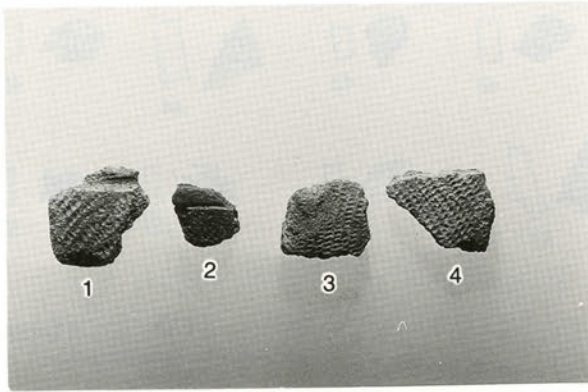
番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	清水川遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R 単節		第9図版1
2	清水川遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R 単節		第9図版2
3	清水川遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節		第9図版3
4	清水川遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節		第9図版4
5	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R 単節		第9図版5
6	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版6
7	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版7
8	端神遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版8
9	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版9
10	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版10
11	端神遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節		第9図版11
12	端神遺跡	縄文土器深鉢	R L 単節		第9図版12
13	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版13
14	端神遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面ナデ		第9図版14
15	端神遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面ナデ		第9図版15
16	端神遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面刷毛目		第9図版16
17	端神遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面ヘラナデ		第9図版17
18	端神遺跡	土師器甕	外面ヘラナデ、内面ヘラナデ		第9図版18
19	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、R L 単節		第9図版19
20	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R 単節		第9図版20
21	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、R L 単節		第9図版21
22	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R 単節		第9図版22
23	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R 単節		第9図版23
24	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R 単節		第9図版24
25	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文		第9図版25
26	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R 単節		第9図版26
27	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、縄文		第9図版27
28	端神遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R 単節		第9図版28
29	端神遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R 単節		第9図版29
30	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版30
31	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版31
32	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版32
33	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版33
34	端神遺跡	縄文土器深鉢	L R 単節		第9図版34
35	端神遺跡	縄文土器深鉢	撚糸文		第9図版35
36	端神遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版36
37	端神遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版37

第15図 山根町端神地区表採遺物(1)

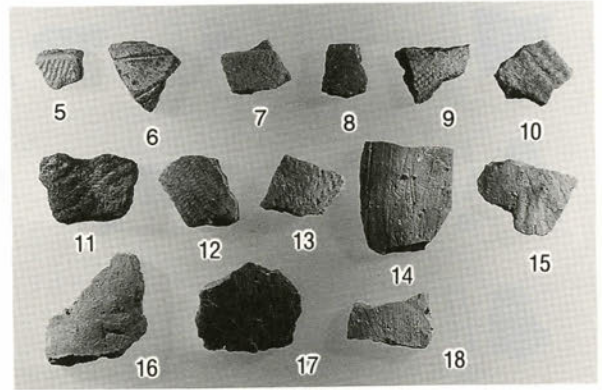


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
38	大久保遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版38
39	大久保遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第9図版39
40	大久保遺跡	縄文土器鉢	沈線文		第9図版40
41	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版41
42	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版42
43	大久保遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第9図版43
44	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版44
45	大久保遺跡	縄文土器深鉢	無節		第9図版45
46	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版46
47	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版47
48	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版48
49	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版49
50	大久保遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版50
51	大久保遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第9図版51
52	大久保遺跡	縄文土器深鉢	無文		第9図版52
53	円館遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第9図版53
54	円館遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第9図版54

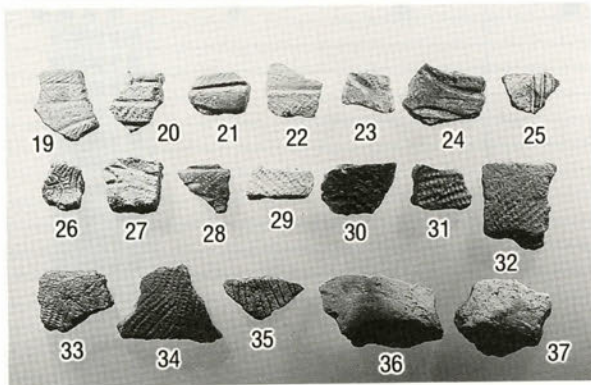
第16図 山根町端神地区表採遺物(2)



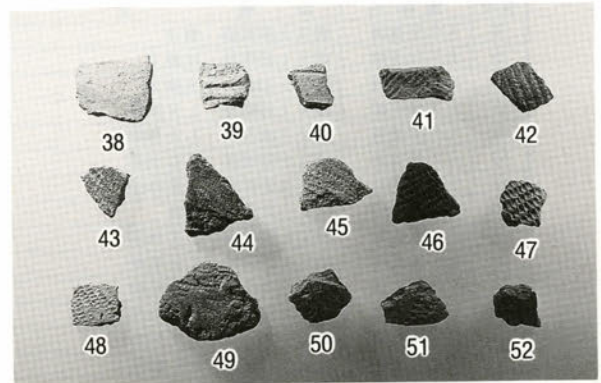
清水川遺跡



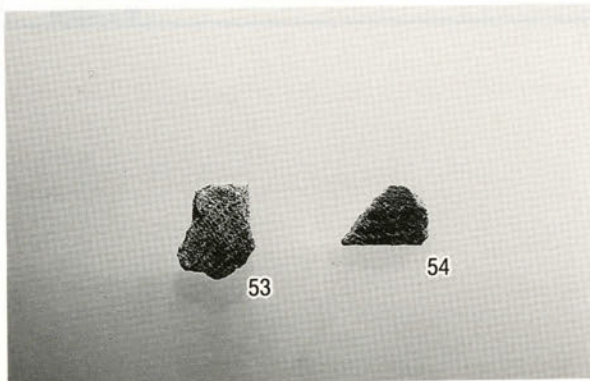
端神遺跡



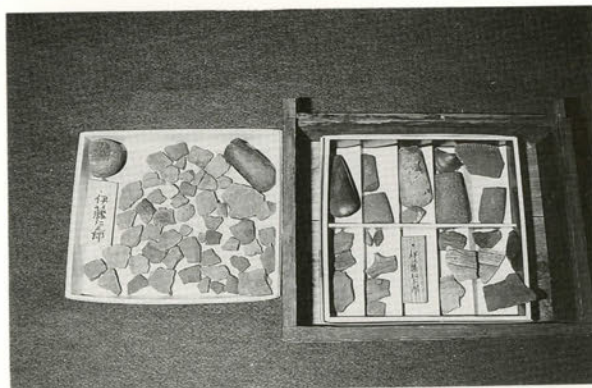
端神遺跡



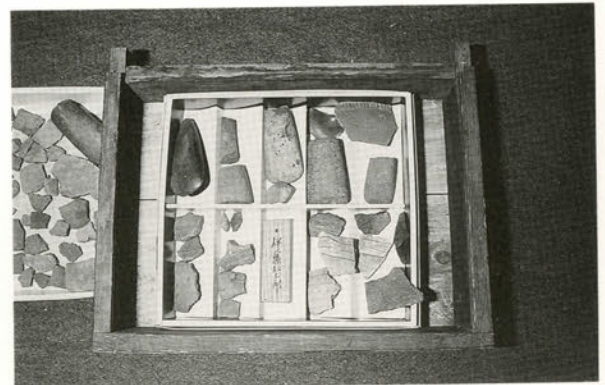
大久保遺跡



円館遺跡



端神遺跡採集遺物 (伊藤仁三郎氏採集、端神公民館蔵)



同左

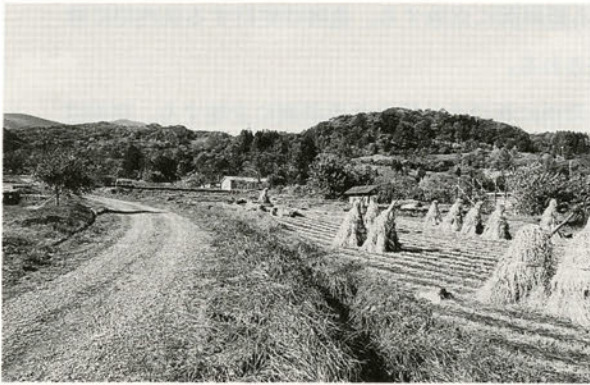
第9図版 山根町端神地区表採遺物



清水川遺跡（南より）



端神遺跡（北東より）



端神遺跡（北東より）



大久保遺跡（南より）



円館遺跡（南より）

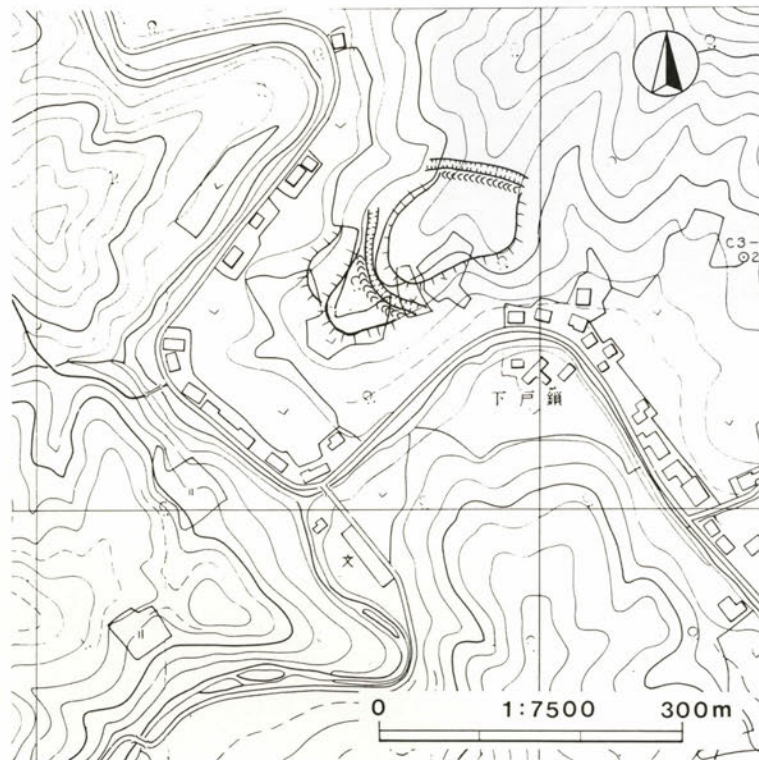
6 山根町下戸鎖地区 (第17~20図、第11・12図版)

山根町下戸鎖地区は、長内川流域の地区に相当する。

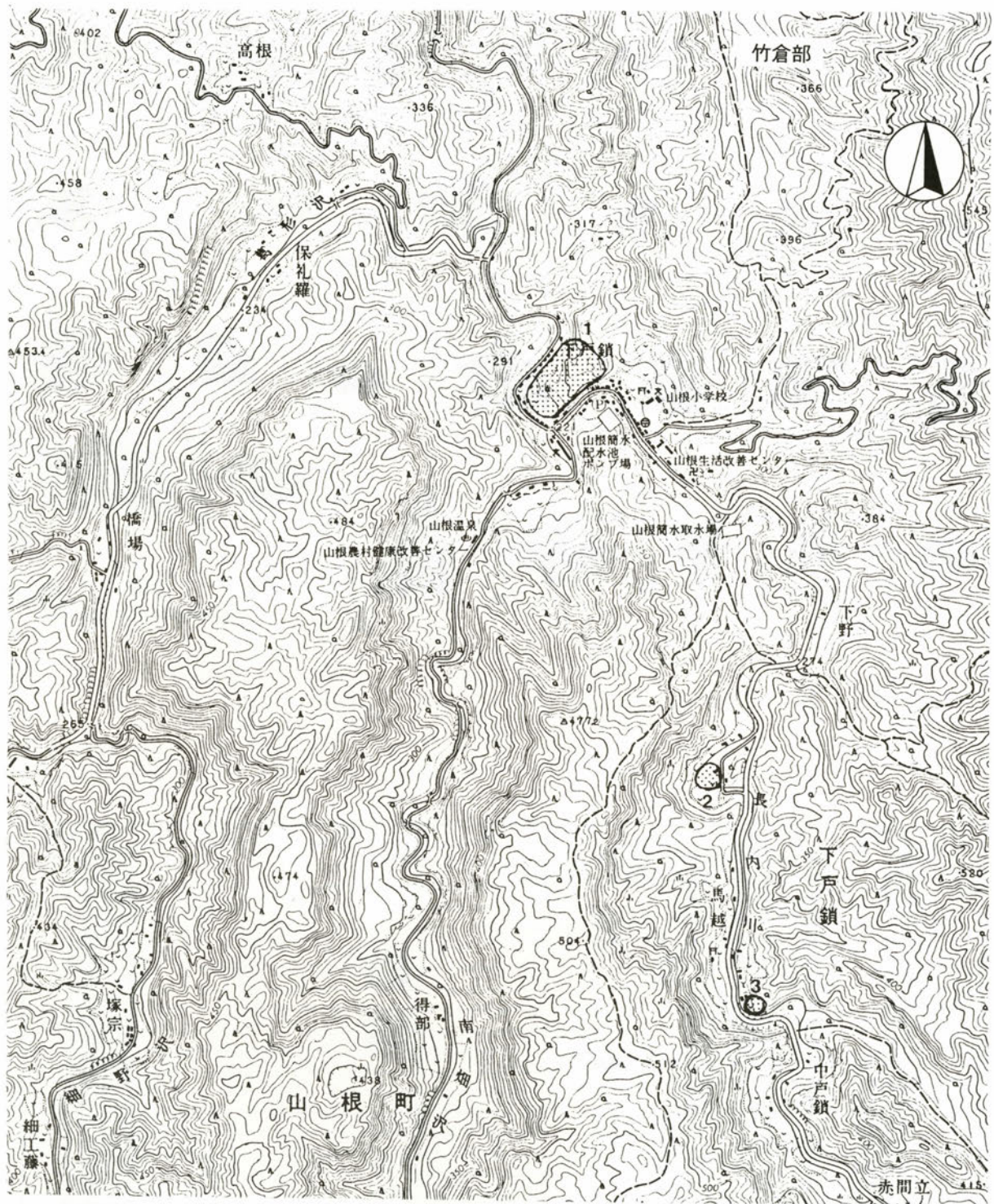
山根館は、長内川右岸の北東から南西に張り出した、通称館平といわれている標高約220~260mの丘陵に立地する平山城である。丘陵に沿って長内川が蛇行し、館跡をとり巻いている。現況は山林である。遺構は主郭、帯郭、空堀、土塁が残存している。主郭は北東~南西約150m、北西~南東約100mの規模である。主郭北側には丘陵の付け根を分断するように空堀があり、空堀の主郭側に土塁が設けられている。また、主郭西側にも空堀があり、その空堀の西側には土塁及び平場が認められる(第17図)。館主は伊藤氏と伝えられており、別称伊藤館とも呼ばれているが、詳細は不明である。また、館跡南西裾部の畑地において、縄文土器が表採される。

下馬越遺跡は、長内川右岸、標高約280mの東から西に下る緩斜面に立地する。遺跡は蛇行する長内川に囲まれている。現況は畑地である。縄文土器、石器が表採される。

上馬越遺跡は、長内川右岸、標高約310~320mの北東から南西に延びる丘陵の北西斜面に立地する。斜面は比較的急傾斜である。現況は畑地及び牧草地である。縄文土器が表採される。



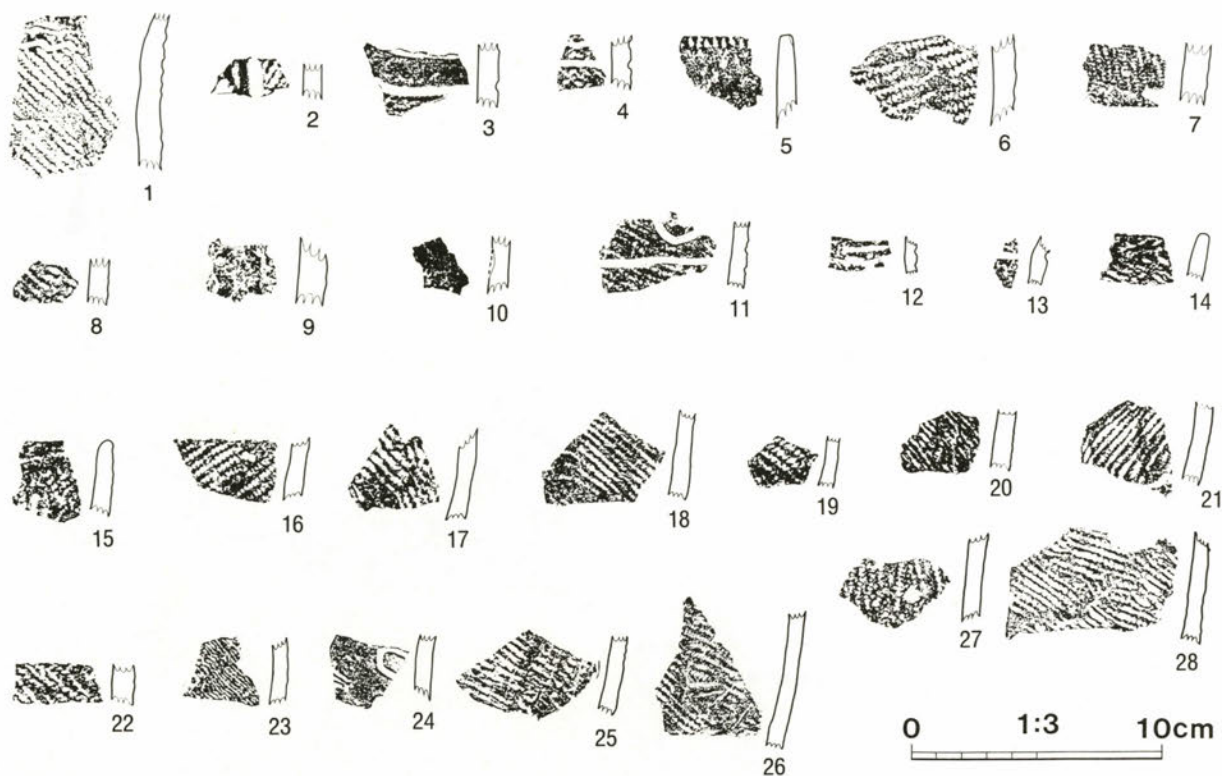
第17図版 山根館平面略図



0 1:25000 1000m

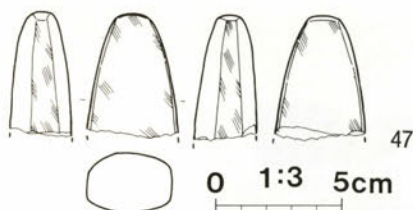
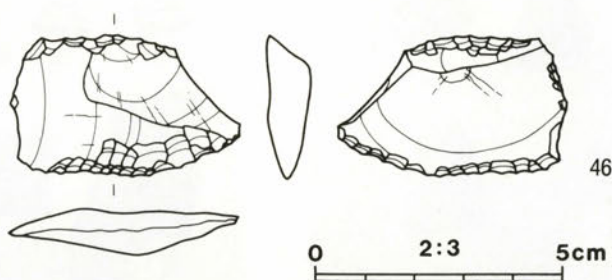
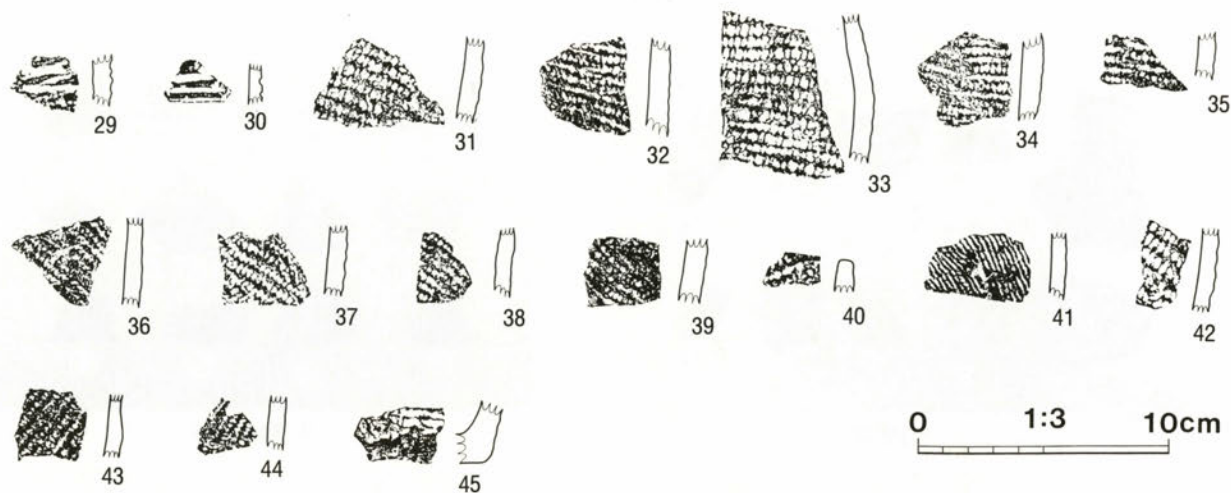
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	山根館	J F 68.2228	城館跡	主郭、帯郭、空堀、土塁、縄文土器(前・中・後期)	山根町下戸鎖第6地割	昭和59年度城館調査
2	下馬越遺跡	J F 78.0382	散布地	縄文土器(後期)、石斧、石器	山根町下戸鎖第3地割	新規
3	上馬越遺跡	J F 78.1374	散布地	縄文土器(前期)	山根町下戸鎖第2地割	新規

第18図 山根町下戸鎖地区遺跡分布図



番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	山根館	縄文土器深鉢	綾絡文、RL単節	繊維含	第11図版1
2	山根館	縄文土器深鉢	隆線文、沈線文、LRL複節		第11図版2
3	山根館	縄文土器深鉢	沈線文		第11図版3
4	山根館	縄文土器深鉢	沈線文、RL単節		第11図版4
5	山根館	縄文土器深鉢	口唇上刻目、無文		第11図版5
6	山根館	縄文土器深鉢	LR単節	繊維含	第11図版6
7	山根館	縄文土器深鉢	LR単節	繊維含	第11図版7
8	山根館	縄文土器深鉢	無節		第11図版8
9	山根館	縄文土器深鉢	磨滅	繊維含	第11図版9
10	山根館	縄文土器深鉢	無文	繊維含	第11図版10
11	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第11図版11
12	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第11図版12
13	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	沈線文		第11図版13
14	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版14
15	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第11図版15
16	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第11図版16
17	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版17
18	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版18
19	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版19
20	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	無節		第11図版20
21	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版21
22	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版22
23	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	無節		第11図版23
24	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、LR単節		第11図版24
25	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版25
26	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版26
27	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	RL単節		第11図版27
28	下馬越遺跡	縄文土器深鉢	LR単節		第11図版28

第19図 山根町下戸鎖地区表採遺物(1)

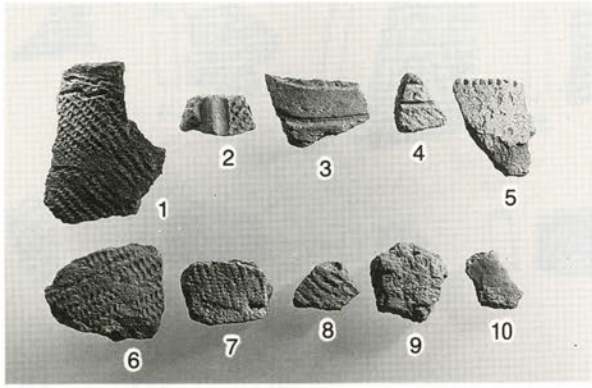


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
29	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	綾絡文?	繊維含	第11図版31
30	上馬越遺跡	縄文土器鉢	沈線文		第11図版32
31	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版33
32	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第11図版34
33	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第11図版35
34	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第11図版36
35	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第11図版37
36	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節	繊維含	第11図版38
37	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版39
38	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版40
39	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版41
40	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版42
41	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	無節		第11図版43
42	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第11図版44
43	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第11図版45
44	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第11図版46
45	上馬越遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第11図版47

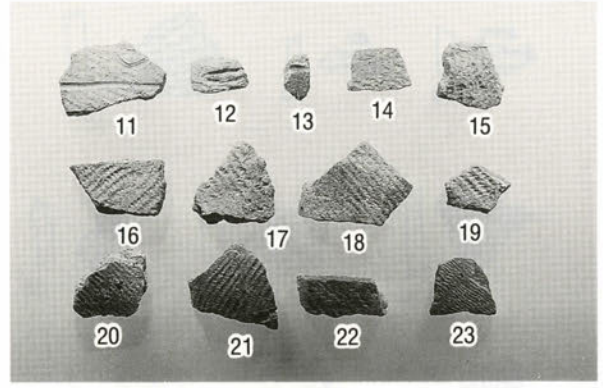
計測値、重量の欄の()内の数値は欠損品の現存値

番号	遺跡名	器種	形態	計測値(単位cm)			重量(単位g)	石質	写真図版	備考
				長さ	幅	厚さ				
46	下馬越遺跡	スクレイパー		2.8	4.6	0.9	10.6	流紋岩	第11図版29	
47	下馬越遺跡	磨製石斧		(5.0)	(3.2)	2.5	(69.9)	閃緑岩	第11図版30	

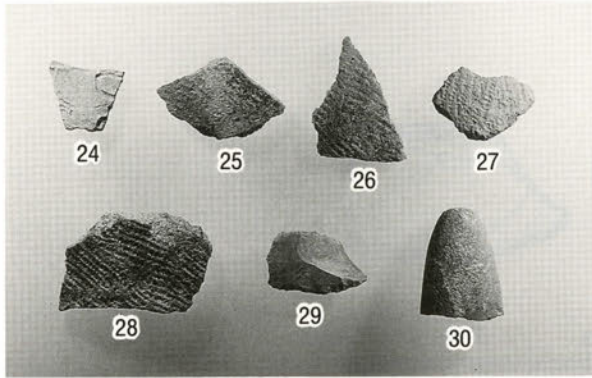
第20図 山根町下戸鎖地区表採遺物(2)



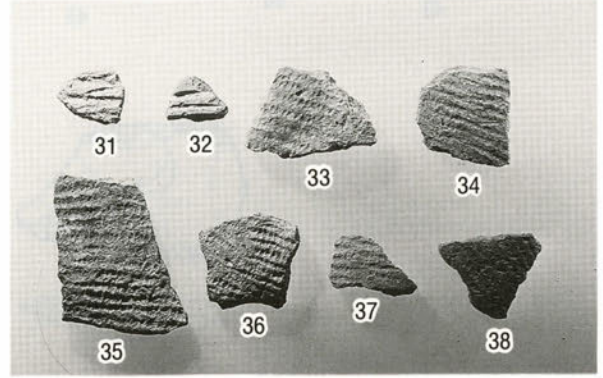
山根館



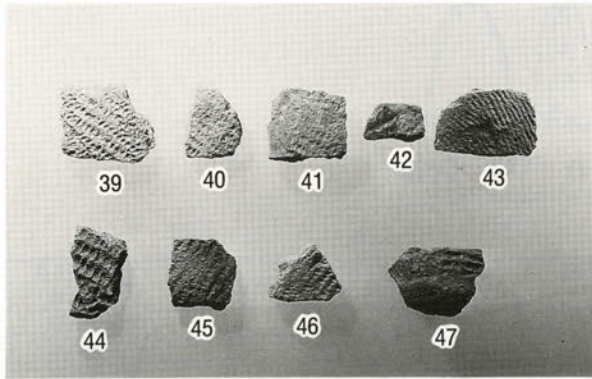
下馬越遺跡



下馬越遺跡



上馬越遺跡



上馬越遺跡



山根館（南より）



山根館空堀東端部（東より）



山根館空堀西端部（西より）



山根館南西裾部（北西より）



下馬越遺跡（北東より）



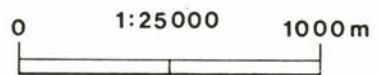
上馬越遺跡（西より）

7 山根町上戸鎖地区（第21・22図、第13図版）

山根町上戸鎖地区は、長内川上流域に相当する。

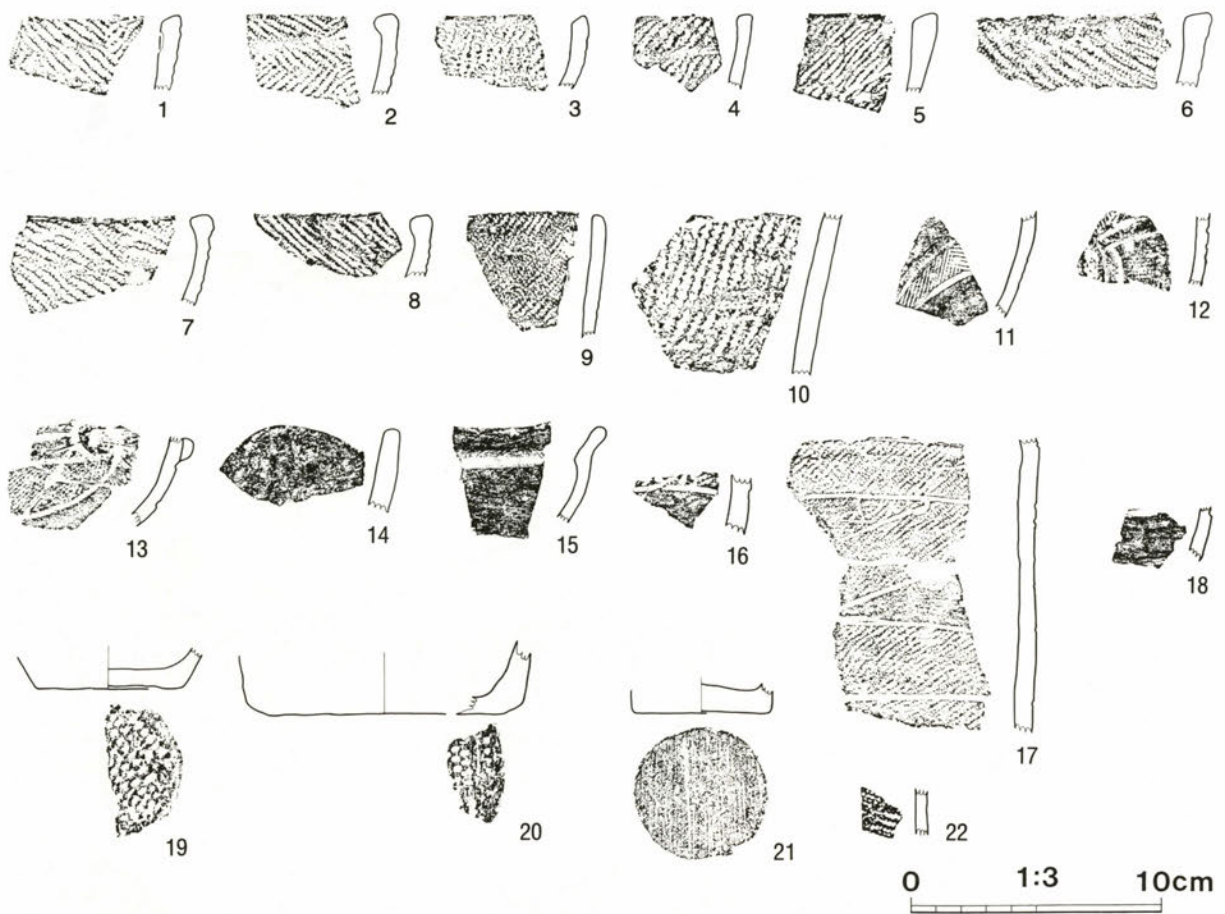
赤馬立遺跡は、長内川右岸、標高約350mの東から西に下る緩斜面に立地する。現況は畑地、牧草地及び荒れ地である。縄文土器が表採される。付近に住む細畑信夫氏が遺跡から採集した遺物を保管している（第22図2～21、第13図版2～24）。縄文時代後期の土器、磨製石斧、磨石等が保管されている。

上戸鎖遺跡は、長内川支流の右岸、標高約430mの北から南に下る緩斜面に立地する。現況は畑地及び山林である。縄文土器が表採される。



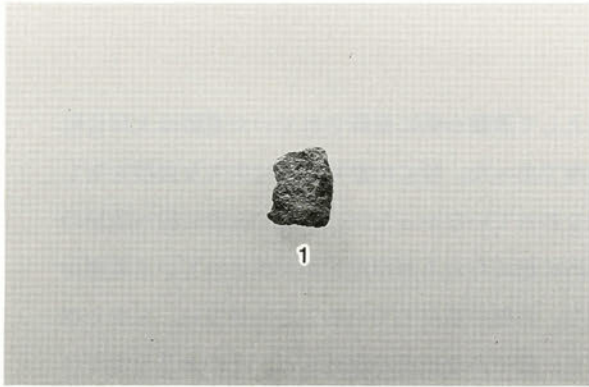
番号	遺跡名	県遺跡コード	種別	遺構・遺物	所在地	備考
1	赤馬立遺跡	J F 79.2082	散布地	縄文土器(後期)、石斧	山根町字上戸鎖第2地割	新規
2	上戸鎖遺跡	J F 89.1163	散布地	縄文土器	山根町字上戸鎖第1地割	新規

第21図 山根町上戸鎖地区遺跡分布図

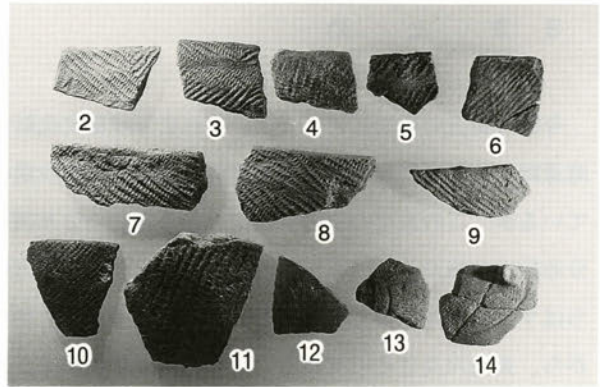


番号	遺跡名	器種	文様	備考	写真図版
1	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文		第13図版2
2	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	羽状縄文		第13図版3
3	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版4
4	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版5
5	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版6
6	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第13図版7
7	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第13図版8
8	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	R L単節		第13図版9
9	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版10
10	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版11
11	赤馬立遺跡	縄文土器鉢	沈線文、R L単節		第13図版12
12	赤馬立遺跡	縄文土器鉢	沈線文、L R単節	アスファルト付着	第13図版13
13	赤馬立遺跡	縄文土器鉢	ボタン状貼付、沈線文、縄文磨減		第13図版14
14	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	無文、波状口縁		第13図版15
15	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	無文		第13図版16
16	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第13図版17
17	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	沈線文、L R単節		第13図版18
18	赤馬立遺跡	縄文土器鉢	沈線文、無文		第13図版19
19	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	無文、底部網代痕		第13図版20
20	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	無文		第13図版21
21	赤馬立遺跡	縄文土器深鉢	無文、底部笹の葉? 圧痕文		第13図版22
22	上戸鎖遺跡	縄文土器深鉢	L R単節		第13図版25

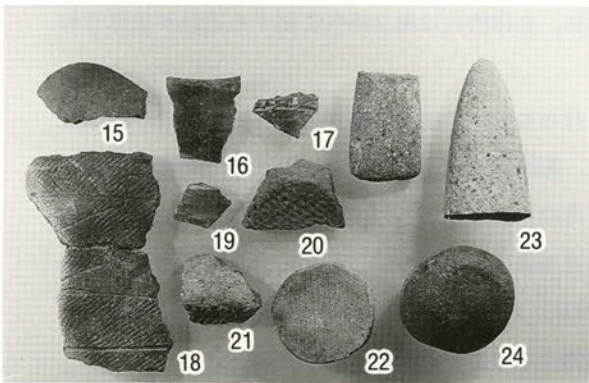
第22図 山根町上戸鎖地区表採遺物



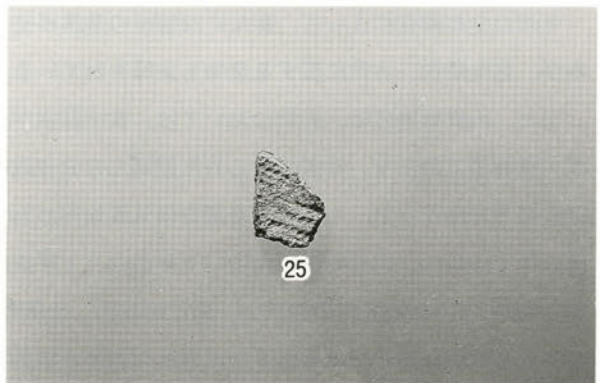
赤間立遺跡表採遺物



赤間立遺跡採集遺物（細畑 信夫氏所蔵）



赤間立遺跡採集遺物（細畑信夫氏所蔵）



上戸鎖遺跡



赤間立遺跡（南西より）



上戸鎖遺跡（南西より）

8 ま と め

今回の調査対象地においては、これまで埋蔵文化財包蔵地として遺跡台帳に登録されていた遺跡は大川目町滝遺跡、山根町野頭遺跡、端神遺跡、細野館、山根館の5箇所であった。特に山根町地区は広大な面積を有しているが、これまで山根町全域にわたる遺跡の分布調査が行なわれていなかったため、その面積に較べ遺跡の分布数は少なかった。さらに山根町地区は、久慈地方に特徴的に認められる海岸段丘が形成されている範囲からはずれた山地地形であるため、ほとんどが急峻な地形を呈し、岩盤が露出しているところが多い。しかしながら、長内川及びその支流沿いには谷底平野が形成されており、緩やかな斜面が認められ、そのような箇所に遺跡が立地する例が多い。

今回の分布調査によって、新たに23箇所の遺跡が発見された。全体的には縄文時代に属する遺跡が主体であるが、弥生時代、古代に属する遺物も表採されている。

また、山根町地区は、近世においては、鉄山経営が盛んに行なわれ、鉄山が数箇所発見されている。鉄山は広大な面積にわたり、今回の限られた期間での分布調査では、範囲の把握が困難であったため、遺跡分布図には登録できなかった。今回の分布調査の対象地内において、その存在が確認されている鉄山は、大川目町滝地区のそで山鉄山、山根町深田地区の下平鉄山、上平鉄山、竹倉部鉄山、山根町端神地区の大久保鉄山、栃沢鉄山、山根町下戸鎖地区の山館鉄山、鹿ごめ鉄山、山根町上戸鎖地区の翁沢鉄山、木古地鉄山が挙げられている。これらの鉄山に関しては今後さらに現地の調査を実施し、範囲等の確認を要するものである。

さらに、山根町には洞穴がいくつか所在しており、洞穴遺跡、岩陰遺跡が存在する可能性がある。山根町は地質学的には安家石灰岩地帯に一部含まれており、石灰岩が雨により溶蝕され形成されるカルスト地形（溶蝕地形）が認められる。カルスト地形の発達した地区においては地下に石灰洞が形成されている。カルスト地形は上戸鎖、中戸鎖、端神、高根地区等に認められ、これらの地区で洞穴の存在が一部確認されており、洞穴遺跡になる可能性がある。今回の分布調査では、岩盤の崩壊、土砂や枯れ葉の厚い堆積等により遺物の採集は不可能であった。隣接する岩泉町、山形村においては洞穴遺跡が確認されており、久慈市内に存在する洞穴についても今後さらに調査を行なう必要があろう。

引用・参考文献

- 照井 一 明 「陸中海岸北部地域の海岸段丘と古流系」岩手県高等学校教育研究会地理部会 1982年
岩手県教育委員会 『岩手県中世城館跡分布調査報告書』岩手県文化財調査報告書第82集 1986年
田村 栄一郎 『みちのくの砂鉄いまいずこ』久慈砂鉄の会 1987年
新田 康夫 「久慈山根町内のカルスト地形」1990年

久慈市埋蔵文化財調査報告書 第17集
久慈市内遺跡詳細分布調査報告書 V

平成6年3月発行

発行 久慈市教育委員会

〒028 岩手県久慈市川崎町1-1
TEL (0194) 52-2111

印刷 有限会社 九戸印刷

〒028 岩手県久慈市長内町24-10-13
TEL (0194) 52-1113

